

## まちの駅魅力再発見プロジェクト

### 鯉江ゼミナール

- 19K013 内山葵
- 19K025 尾身萌々花
- 19K035 小林桃香
- 19K048 柴野奏人
- 19K056 高島元輝
- 19K079 長原史拓
- 19K097 星美紀
- 19K106 山井良海
- 19K112 吉田和弥
- 19K303 Ochirpurev Ariunjargal
- 20K007 荒木しおり
- 20K014 泉龍嗣
- 20K017 猪飼海音
- 20K062 佐藤里菜



## 目 次

1. 調査・研究の目的
  - 1.1 本年度の調査・研究活動
  - 1.2 本報告書の構成
2. 「まちの駅」の概要と過年度の調査・研究活動の概要
  - 2.1 「まちの駅」の概要
  - 2.2 過年度の調査・研究活動の概要
3. まちの駅情報発信プロジェクト
  - 3.1 まちの駅定義パネル、モザイクアート・まちの駅自慢パネル
  - 3.2 まちの駅パネル作成・更新
  - 3.3 まちの駅パネル展
  - 3.4 ホームページ等を通じた情報発信
4. まちの駅交流プロジェクト
  - 4.1 魅力ある駅のリレー紹介
  - 4.2 各種イベント
5. まとめ
  - 5.1 今年度の活動成果
  - 5.2 来年度の活動

<謝辞>

<参考文献>

<参考資料1> ゼミナール活動ご協力のおかげ

<参考資料2> 7月まちの駅めぐり

<参考資料3> 9月まちの駅めぐり

<参考資料4> 11月まちの駅めぐり

<参考資料5> 新駅まちの駅めぐり

<参考資料6> トチオーレ秋あじまつりチラシ

<参考資料7> まちの駅全国大会チラシ

## 1. 調査・研究の目的

### 1.1 本年度の調査・研究活動

令和4年12月12日現在の新潟県内の「まちの駅」の開設数は126駅であり、総数は昨年から3駅減少した。県内のネットワークは、越後長岡まちの駅ネットワーク(50駅)、まちの駅ネットワークみつけ(42駅)、まちの駅ネットワークごせん(5駅)、まちの駅ネットワーク糸魚川(10駅)であり、それ以外にも個人・法人が独自に開設しているまちの駅がある。

昨年度は『コロナ禍における「まちの駅」の新たな交流・連携のあり方を考える』をテーマとして、まちの駅のあり方に関するアンケート調査と地域と来訪者をつなげる活動を行った。その「まちの駅のあり方に関するアンケート調査」結果から、まちの駅の認知度が低い、まちの駅間の交流や情報交換の不足という2つの課題が明らかとなった。

今年度はその課題を克服すべく「まちの駅魅力再発見プロジェクト」と題して活動を行うこととした。それに伴い、まちの駅の認知度向上を目指す「まちの駅情報発信プロジェクト」と連携機能の強化を図る「まちの駅交流プロジェクト」を立ち上げた。

「まちの駅情報発信プロジェクト」では、以下4つの活動を通じて、認知度向上を図った(以下の章・節を参照されたい)。

3.1 まちの駅定義パネル、モザイクアート・まちの駅自慢パネル

3.2 まちの駅パネル作成・更新

3.3 まちの駅パネル展

3.4 ホームページ等を通じた情報発信

「まちの駅交流プロジェクト」としては、以下2つの活動を通じて、他のまちの駅を知るお手伝いと交流の土台作りを図った(以下の章・節を参照されたい)。

4.1 魅力ある駅のリレー紹介

4.2 各種イベント(まちの駅めぐり、新駅まちの駅めぐり、トチオーレ秋あじまつり、まちの駅全国大会、成果発表会、花はすボランティア)

なお、今年度の活動実績については、図表1.1【1】活動全体のスケジュール概要、および、図表1.1【2】今年度の活動一覧の通りである。



図表 1.1 【1】 活動全体のスケジュール概要

	4～6月	7月	8月	9月	10月	11～12月
モザイクアート作成 パネル作成	企画	ヒアリング(計25ヶ所)		モザイクアート作成		
HP・Instagram PV作成	企画	定義パネル・自慢パネル作成		HP・Instagram投稿		
魅力ある駅のリレー紹介	企画	ヒアリング、パネル作成(計10ヶ所)				
ヒアリング パネル作成		ヒアリング、パネル作成・更新(計37ヶ所)				
パネル展		7/31～8/12 アオーレ長岡		9/8 まちの駅めぐり①	10/9 トチオーレ 秋あじまつり	12/1～12/12 ネーブルみつけ
ボランティア イベント		7/31・8/4・8/12 花はすボランティア		9/17～18 悠久祭	9/26 新駅まちの駅 めぐり	11/10 まちの駅 めぐり② 11/11 まちの駅 全国太会

図表 1.1 【2】 今年度の活動一覧

日付	活動場所	活動内容
5月30日(月)		YouTubeアカウント開設
6月7日(火)	見附市役所	まちの駅ネットワーク見附の担当者変更によるご挨拶 今年度活動内容の打ち合わせ
6月15日(水)	長岡大学 LC3	越後ながおかまちの駅ネットワークの担当者にご挨拶 今年度活動内容の打ち合わせ
6月27日(月)	ネーブルみつけ	今年度まちの駅全国大会概要説明 まちの駅ネットワークみつけの各部の報告 鯉江ゼミの今年度活動内容説明及び活動へのご協力をお願い
7月5日(火)	まちの駅 ギャラリー沙蔵	ヒアリング、写真撮影、PV動画撮影、パネル更新
7月6日(水)		YouTubeにまちの駅PV「まちの駅 ギャラリー沙蔵」投稿
7月7日(木)	名水縄文雪つららの水	ヒアリング、写真撮影、PV動画撮影、パネル更新
7月7日(木)	お菓子の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新、魅力ある駅のリレー紹介
7月11日(月)	里山ログハウスの駅	ヒアリング、写真撮影、山登り
7月11日(月)		YouTubeにまちの駅PV「名水縄文雪つららの水」投稿
7月12日(火)	もち好きが集う駅 カーライフステーション 元気創造 今町・くすりの駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
7月12日(火)	まちの駅 きた町	ヒアリング、写真撮影、PV動画撮影、パネル更新
7月13日(水)	健康な住まいの駅	訪問後、駅長の都合により中断
7月14日(木)	まちの駅 レアント お菓子の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新、パネル確認
7月18日(月)	まちの駅 ほっとびあ パンの駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新、魅力ある駅のリレー紹介
7月19日(火)	ネーブルみつけ みらい市場	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
7月20日(水)	そば一筋の駅 結柳の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
7月25日(月)	なむなむの駅 お菓子の駅	ヒアリング、写真撮影、パネルの受け渡し
7月25日(月)		YouTubeにまちの駅PV「まちの駅きた町」投稿

日付	活動場所	活動内容
7月26日(火)	健康な住まいの駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
7月28日(木)	四季の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新、魅力ある駅のリレー紹介
7月31日(日)	なごか市民協働センター	パネル展の準備、パネル搬入、パネル展開始(～8月12日(金))
7月31日(日)	なごか市民協働センター	はなはすの水やり、草取り
8月4日(木)	なごか市民協働センター	はなはすの水やり、草取り
8月12日(金)	なごか市民協働センター	はなはすの水やり、草取り
8月12日(金)	なごか市民協働センター	パネル展の片付け
8月12日(金)	里山ログハウスの駅	パネルの受け渡し
8月17日(水)	川の駅 パティオにいがた 和の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
8月19日(金)	学びの駅 抹茶の駅 洋食の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
8月20日(土)	あかりの駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
8月22日(月)	森の仲間「千の森」	ヒアリング、写真撮影、PV動画撮影、パネル更新
8月23日(火)	焼肉と韓国家庭料理の駅 人・農・食の駅 結柳の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新 魅力ある駅のリレー紹介、パネルの受け渡し
8月24日(水)	花と緑と介護の駅 川の駅 見附市総合体育施設	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
8月29日(月)		YouTubeにまちの駅PV「森の仲間「千の森」」投稿
8月31日(水)	靴の駅 人・農・食の駅 健康と住まいの駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新 魅力ある駅のリレー紹介、パネルの受け渡し
9月5日(月)	なごか市民協働センター	トチオーレ秋あじまつり実行委員会の会議へ出席
9月6日(火)	まちなかの駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新、魅力ある駅のリレー紹介
9月6日(火)	トチオーレ	トチオーレ秋あじまつりパネル展下見
9月8日(木)	ネーブルみつけ その他まちの駅5駅	まちの駅めぐり
9月9日(金)	栃尾表町雁木の駅 トチオーレ	ヒアリング、写真撮影、パネル更新 トチオーレ秋あじまつりパネル展・PV放映下見
9月13日(火)	川の駅 見附市総合体育施設 中華料理の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新 魅力ある駅のリレー紹介、パネルの受け渡し
9月13日(火)		YouTubeにまちの駅PV「花火の駅・長岡花火ワールド悠」投稿
9月16日(金)	長岡大学216教室	悠久祭「鯉江ゼミナールパネル展」準備
9月17日(土)	長岡大学216教室	悠久祭「鯉江ゼミナールパネル展」1日目
9月18日(日)	長岡大学216教室	悠久祭「鯉江ゼミナールパネル展」2日目、片付け
9月21日(水)	カーライフステーション ほっと一息花みどりの里 まちなかの駅 学びの駅 日本茶の駅 栃尾表町雁木の駅	ヒアリング、写真撮影、パネル更新 魅力ある駅のリレー紹介、パネルの受け渡し
9月22日(木)	ほっとびあ	魅力ある駅のリレー紹介
9月26日(月)	長岡大学	新駅まちの駅めぐり
9月27日(火)	栃尾表町雁木の駅 トチオーレ	トチオーレ秋あじまつりパネル展・PV放映下見 機材確認、パネル確認
9月29日(木)	まちの駅長岡大学	ヒアリング、写真撮影、パネル更新
9月30日(金)	なごか市民協働センター	トチオーレ秋あじまつりについて越後長岡まちの駅ネットワークの担当者と打ち合わせ
10月3日(月)	トチオーレ	パネル展の準備、パネル搬入、パネル展開始(～10月9日(日))
10月3日(月)	栃尾表町雁木の駅	パネルの受け渡し
10月9日(日)	トチオーレ	トチオーレ秋あじまつり、パネル展の片付け
10月11日(火)		YouTubeにまちの駅PV「まちの駅ギャラリー沙蔵」ショート動画投稿

日付	活動場所	活動内容
10月18日（火）	花と緑と介護の駅 まちなかの駅 靴の駅 パンの駅 焼肉と韓国家庭料理の駅 中華料理の駅 四季の駅	パネル渡し
10月20日（木）	ぎんなんアイスクリームの駅 まちの駅寺泊	ヒアリング、写真撮影、PV動画撮影、パネル更新
10月24日（月）		YouTubeにまちの駅PV「名水縄文雪つららの水」ショート動画投稿
10月24日（月）		YouTubeにまちの駅PV「まちの駅寺泊」投稿
10月30日（日）		YouTubeにまちの駅PV「花火の駅・長岡花火ワールド悠」ショート動画投稿
10月30日（日）		YouTubeにまちの駅PV「まちの駅寺泊」ショート動画投稿
11月10日（木）	ネーブルみつけ その他まちの駅6駅	まちの駅めぐり
11月11日（金）	長岡大学第4会議室	第24回 まちの駅全国大会 オンラインミーティング
12月1日（木）	ネーブルみつけ	パネル展の準備、パネル搬入、定義パネル、モザイクアート 自慢パネル配布、パネル展開始（～12月12日（月））
12月3日（土）	ホテルニューオータニ長岡 NCホール	学生による地域活性化プログラム成果発表会
12月12日（月）	ネーブルみつけ	パネル展の片付け

## 1.2 本報告書の構成

第1章では、今年度の調査・研究活動について、その概要を紹介する。

第2章では、「まちの駅」の概要、過去5年間のゼミにおける調査・研究活動の概要について紹介する。

第3章では、まちの駅情報発信プロジェクトについて紹介する。

第4章では、まちの駅交流プロジェクトについて紹介する。

第5章では、今年度の活動成果と来年度の活動に対する展望を述べ、取りまとめとする。

## 2. 「まちの駅」の概要と過年度の調査・研究活動の概要

### 2.1 「まちの駅」の概要

本節では、全国まちの駅連絡協議会「まちの駅 (<http://www.machinoeki.com>)」(文献1)を参考に「まちの駅」が備えるべき機能、施設等の要件を整理しておく。

#### (1) まちの駅の定義と機能

まちの駅は必ずしも新設のものである必要はなく、既存施設の活用により、市町村、NPO、団体等が地域連携を目指しネットワークを因ることを原則とし、様々な運営主体、施設内容、規模、運営形態を持ったまちの駅が、共存することを想定している。したがって、市町村という行政域を超えた連携を目指して、地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する施設である。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を有するものであり、以下の機能を備えるものである。

- 誰でもトイレが利用でき、無料で休憩できる機能（休憩機能）

- ▶ まちの駅案内人が、地域情報について丁寧に教える機能（案内機能）
- ▶ 地域の人と来訪者の、出会いと交流のサポートをする機能（交流機能）
- ▶ まちの駅間でネットワーク化し、もてなしの地域づくりを目指す機能（連携機能）

## (2) 名称およびシンボルマーク

3つの山のようなマークは「人」を表す。一つ目の山は「よそ者」、二つ目は「ばか者」、三つ目は「わか者」を表している。真ん中の「i（アイ）」は、インフォメーションを表している（図表 3.1.1【1】まちの駅定義パネル、参照）。つまり、このマークは「いろいろな人が集まり、出会いが生まれ、まちや地域のことを教えてくれる人がいる場所」を意味している。まちの駅は、このマークの本来の意味を保つためにも、人同士・駅同士の「交流」が何よりも大切である。各まちの駅は、その理念を共有した上で、地理的条件、運営目的などに応じて、個性ある名称を付けるようにしている。ただし、全国共通のシンボルマークを併記することが必要である。全国共通のシンボルマークは「まちの駅連絡協議会」に入会したもので、かつ、一定以上の条件を具備した施設に使用が認められている。

## (3) 看板の設置

各まちの駅は、前項のまちの駅相互の連携を保ち、利用者の信用を確保するために、一定の規格に沿った共通シンボルマークを表示した看板を設置することが義務付けられている。その規格等は、別に定めた「シンボルマーク仕様・看板設置マニュアル」に従うこととなっている。

## (4) 連携・支援

まちの駅は、相互に連携・支援し合うことを基本として、これらを促進するために各地の状況に応じて連携支援事項を申し合わせることになっている。「道の駅」などとの関係においては、特に形式的に区別せず、相手との協議に応じて、共存、連携していくことが進められている。

## (5) 人の配置

まちの駅には、「もてなしの心」を持った人を常駐させることが必要であるが、他の職務との併任でも構わない。案内人は、まちや隣接市町村などに関わる知識を習得するように努めることとされている。まちの駅運営者は、案内人が積極的に研修を受けられるようにするとともに、他の地域を含む案内人同士の交流の機会を作ることに努めることとされている。まちの駅連絡協議会主催の全国大会や研修会、その他地域大会が開催される場合は、可能な限り派遣に努めることも必要である。

## (6) 設備・備品・サービス

まちの駅に必要な最低限レベルの設備・備品・サービスは以下の通りである。

- ▶ まちの駅の看板（のぼり、シール等でもよい）
- ▶ 利用者が休憩できるスペース、椅子など
- ▶ トイレ（障がい者も利用可能なものが望ましい）
- ▶ まちおよび周辺の情報

## (7) 共通情報の整理、提供

まちの駅は、道路交通、地図情報、地元情報（観光、イベント、文化、歴史、住民活動等）、緊急時の対応などに係わる情報を常備することが必要とされている。

## (8) 登録

まちの駅として登録を受けるためには、別に定める認定申請書に必要事項を記入の上「まちの駅連絡協議会事務局」に提出しなければならない。「まちの駅連絡協議会」役員会で、まちの駅の要件を欠くと判断した場合には、具体的な問題点を当該まちの駅に文書で通知することとなっている。通知を受けたまちの駅は早急に改善しなければならない。改善が図られない場合には、速やかに退会届を提出することとなっている。

## (9) 報告

まちの駅に携わる者は、相互の運営およびまちの駅の全国レベルでの運営戦略展開に資するために、所定の項目について、電子メール等を活用し、定期的に情報交換を行うこととなっている。報告事項については、まちの駅ホームページで紹介される。

## (10) 全国組織

全国共通に実施することについては、「まちの駅連絡協議会」において定めることとし、その規定に従うことになっている。

## (11) 道の駅とまちの駅の違い

「まちの駅」と「道の駅」を混同している方が多いというのは、各地からよく聞かれる声である。文字と違って、発音が似ているので聞き間違いやすいことも一因と考えられる。

「道の駅」は、①休憩機能②情報発信機能③地域連携機能の3つを併せ持った公共施設である。利用者が無料で24時間利用できる十分な容量を持った駐車場や清潔なトイレがあることなどの登録要件とともに、設置者が「市町村または市町村に代わり得る公共的な団体」と定められている。国土交通省のホームページ（文献2）では、「道の駅」の沿革として「平成3年10月～4年4月「道の駅」を実験（山口県、岐阜県、栃木県）」としか記載されていない。「道の駅」の社会実験は国が行ったのではなく、地域交流センターが事務局となって、地元自治体や各種団体メンバーで協議会を組織して実験したものである。仮設の「道の駅」を設置して約1ヶ月の利用状況を検証した。その実験結果を受けて、建設省道路局により「道の駅」の共通コンセプトが整理され、平成5年に「道の駅」は制度化された。それから29年が経ち、全国各地に「道の駅」の設置が進められ、令和4年8月時点で1,198駅が登録されている。「道の駅」の発想は、平成2年1月に地域交流センターが中心となって広島で開催した「中国・地域まちづくり交流会」の中で山口県の船方農場代表の坂本多且様が、「道路にも鉄道の駅のような施設があっても良いのではないか」と発言されたことに始まる。そこで、参加者の賛同を得て、道路沿いに「駅」を作る実験事業が始まった。トイレに困った体験がきっかけなので、「道の駅」にはトイレが必須の設備になった。

一方、「まちの駅」は①休憩機能②案内機能③交流機能④連携機能の4つの機能を持ったたまり場である。コンセプトは「道の駅」とあまり変わらないが公共機関に限らず民間商



店やNPO等でも設置・運営できる点が大きく違う。「全国まちの駅連絡協議会」が認証しているといっても条件は緩くして駅長になる方の地域や人を思う気持ち、「おもてなし」の心を大切にしている。そのため個人商店や小規模施設から大型店舗や企業の工場、多機能施設など多種多様な主体が施設(の一部)を休憩&交流スペースとして開放し、「まちの駅」となっている。「まちの駅」をきっかけに思いを持った人同士がつながり、緩やかなネットワークが形成されている。

「道の駅」は、公共インフラとしての物理的作用により人々の利便性を高め、社会を支える機能も拡張している。一方、「まちの駅」では、街なかの様々な人々の出会いと語りの中から人間関係の化学反応が起きて地域を変える力になっていくことが期待されている。両者の違いから「道の駅」として登録された施設が地域内外の交流・連携を求めて、まちの駅ネットワークに参加する例も増えてきている。

## 2.2 過年度の調査・研究活動の概要

本ゼミでは、平成19年度より「まちの駅」をテーマに調査・研究活動を行ってきた。最近5年間の活動概要は以下のとおりである。各年度の活動報告書については、「長岡大学鯉江ゼミナール これまでの活動報告書」(<https://koie-seminar.amebaownd.com>)を参照されたい。

### <平成29年度>

平成29年度は、新潟県内のまちの駅の調査・研究と地域活性化活動を行った。その他にまちの駅の情報発信活動として、まちなかキャンパス長岡こども講座こどもカフェや株式会社ユアテック技術センター中越地区安全協議会第27回安全大会へ参加し本ゼミの活動発表を行った。もう一つの活動として、「まちの駅」から越路地域の魅力発信を行った。越路地域の全7駅のまちの駅と連携し、越路まちの駅マップを作成した。作成したマップをもみじ園のイベントや悠久祭のパネル展で配布することによって越路地域の魅力発信ができた。

### <平成30年度>

平成30年度は、新潟県内のまちの駅の紹介パネルの作成・更新、地域行事のボランティアを行った。このほかに、まちの駅の情報発信活動としてFMながおかのラジオ番組「長大生と行く!まちの駅ヒアリングGO!!」を制作した。そして「第21回まちの駅全国大会 in 会津」に参加し、各地のまちの駅の現状・課題について意見を交わした。同時に本ゼミの活動発表も行った。また栃木県鹿沼市にある「まちの駅ネットワークかぬま」の方々を長岡市の越路地域に招待し、越路地域の観光スポットをご案内した。

### <令和元年度>

令和元年度は、昨年度に引き続き新潟県内のまちの駅の紹介パネルの作成・更新、悠久祭で模擬店とパネル展を行った。さらに、まちの駅関連の様々な地域イベントへの参加やFMながおかのラジオ番組「まちの駅1分間CM」の作成、越路マップの改訂、新潟県内のまちの駅交流会の企画・運営を通して地域活性化活動に取り組んだ。また、「まちの駅&どまいち 春の物産フェア」、「とうきび観音まつり」、「今町まちなかマルシェ」、「花はすの

水やり」、市民協働ネットワーク長岡の方からご依頼を受け、「ながおか市民活動フェスタ」の合計5つのイベントにボランティアとして参加し、地域を盛り上げた。

#### <令和2年度>

令和2年度は、まちの駅の認知度向上のために本学の学生とそご家族にアンケート調査を行い、一般の方にも調査を実施した。その結果をもとにゼミのまちの駅紹介の広告媒体として、Instagram アカウントを開設した。また、まちの駅紹介パネルの作成・更新に加え、パネル展示会の開催、FM ながおかのラジオ番組「まちの駅1分間CM」の作成を行った。さらに、新たな試みとして留学生による外国人向けパンフレットの作成に取り組んだ。

#### <令和3年度>

令和3年度は、7つのまちの駅ネットワークを対象に「まちの駅のあり方に関するアンケート調査」を実施した。アンケート調査の結果をもとに、それぞれのまちの駅が満足度を高められる交流を提案した。また、まちの駅紹介パネルの作成・更新に加え、パネル展示会の開催、Instagram・ホームページの更新、FM ながおかのラジオ番組「まちの駅1分間CM」の作成、花はすのボランティア、まちの駅&どまいち 春の物産フェア、まちの駅オンライン全国大会へ参加した。

### 3. まちの駅情報発信プロジェクト

まちの駅情報発信プロジェクトではまちの駅の認知度向上を図るために、まちの駅定義パネル、モザイクアート・まちの駅自慢パネルの作成、各まちの駅の紹介パネル作成・更新、まちの駅パネル展、ホームページ等を通じた情報発信（ホームページ・Instagramの更新、まちの駅PV制作）を行った。

#### 3.1 まちの駅定義パネル、モザイクアート・まちの駅自慢パネル

ゼミが活用しているまちの駅の情報発信の手段の1つがパネル作成である。今年度はまちの駅紹介パネルに加えて新たなパネルを作成することに決め、認知度向上のための情報発信を行うこととした。

まちの駅の認知度向上を図るにあたり、まずはまちの駅が認知されない理由を考えた。その結果、まちの駅がどのようなものかわかりにくい、なにができるのかわからないなどの意見が挙げられ、まちの駅の来訪者側から見た定義や機能、まちの駅の魅力を伝えることが重要だと考えた。その課題を解決するために、まちの駅定義パネル、モザイクアート・まちの駅自慢パネルの作成を行った。

##### 3.1.1 まちの駅定義パネル

###### (1) 作成経緯

まちの駅の認知度向上にあたって、まずはまちの駅がどのようなものかを知ってもらうことが重要と考えた。そこでまちの駅の概要を分かりやすくまとめた「まちの駅定義パネル」の作成を行った。

図表 3.1.1 【1】 まちの駅定義パネル

## まちの駅とは…人・テーマ・まちをつなぐ拠点です！

①人：地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いを促進する空間施設です

②テーマ：福祉、アート、教育、観光などそれぞれに活動テーマがあり、そのテーマを連携させることにより、豊かなまちづくりへ貢献します

③まち：設置・運営主体は行政・民間を問わないため、行政と民間が連携することで大きなネットワークを構築できます

### まちの駅ってなにができるの？

まちの駅は無料で休憩できるまちの案内所です。公共施設から個人商店まで、多種多様な施設がまちの駅の運営を行っています。まちの駅の機能について、下の図で詳しく説明します！



このマークがまちの駅である目印です！

### まちの駅の4つの機能



- 休 憩機能  
誰でもトイレが利用でき、無料で休憩が出来ます
- 案 内機能  
「まちの案内人」が、地域の情報について丁寧に教えてくれます
- 交 流機能  
地域の人と来訪者の、出会いと交流のサポートをします
- 連 携機能  
まちの駅間でネットワーク化し、もてなしの地域づくりを目指しています

### 「まちの駅」と「道の駅」の違いってなんだろう？

「まちの駅」という名前だけだと「道の駅」と似ているため、違いが分からない人もいます。2つの違いについて表を使って説明します！

	まちの駅	道の駅
<b>基本コンセプト</b>	「ひと・テーマ・まち」をつなぐ拠点 ・ヒューマンステーション ・テーマステーション ・地域同士の連携	「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」 ・安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供 ・地域のにぎわい創出を目的とした施設
<b>機能</b>	・休憩機能 ・案内機能:「まちの案内人」による説明 ・交流機能:出会いと交流のサポート ・連携機能:まちの駅間でネットワーク化し、もてなしの地域づくりをめざす。	・休憩施設:「休憩機能」 ・地域の連携機能:道路・観光などの「情報提供機能」 ・情報発信機能:地域の文化情報発信、イベント開催
<b>設置者等</b>	・既存施設を活用して設置することを想定しており、その設置・運営主体は行政・民間を問わない。 ・まちの駅設置の際は「全国まちの駅連絡協議会」に連絡・入会手続きを行う。 ・設置者は年会費を支払う必要あり(個人の場合、1万円)	・「道の駅」の設置者は市町村等 ・国土交通省道路局に申請し登録

### ゼミ生が感じるまちの駅の魅力

- アットホームな雰囲気のある場所が多く、皆さんが訪れてくれることを楽しみにしてくれています
- 駅長さんは地域の案内人のため、どんな質問にも答えてくれます
- 駅長さんは気さくで明るく、親切な方ばかりで楽しい時間を過ごせました
- どこでもトイレが使えました

(藤江康正, 人口減少下における地域のあり方に関する研究—「まちの駅」を事例として—より引用)

- 食事や買い物を楽しむことができました
- 地域の特産品を買うことができ、豊かな恵みをもたらしてくれました
- まちの駅に訪れた人や地域の人と出会って、新たな交流の機会になります

2022年度作成：長岡大学経営ゼミナール「まちの駅情報発信プロジェクト」



## (2) まちの駅定義パネルの概要

まちの駅定義パネルでは、「まちの駅の概要」「まちの駅の4つの機能」「道の駅との違い」を紹介した。それに加えて、今年度のまちの駅へのヒアリング活動を通してゼミ生が感じた「まちの駅の魅力」を載せることで、まちの駅をより身近に感じて興味を持っていただけるようなパネルとした（図表 3.1.1 【1】 まちの駅定義パネル、参照）。

## (3) まちの駅定義パネルを利用した活動

9月下旬にパネルが完成し、長岡大学悠久祭、栃尾地域で開催されたイベント「トチオーレ秋あじまつり」にてパネルの展示を行った。12月1日～12月12日にネーブルみつけにて開催した見附まちの駅パネル展では、パネルの展示とともにチラシ形式で50部配布した。

### 3.1.2 モザイクアート・まちの駅自慢パネル

#### (1) 作成経緯

まちの駅の認知度向上を図るとともに、まちの駅1駅1駅の認知度向上も図ろうと考えた。上述の「まちの駅定義パネル」は、まちの駅そのものの認知度向上を図る目的で作成したものである。対して、「モザイクアート・まちの駅自慢パネル」は、まちの駅ネットワークみつけに属するまちの駅の魅力をコンパクト（A3、1枚）に紹介するものである。そうすることによって、それを手にした方が自分の興味関心のあるまちの駅を見つけやすくなり、訪問機会が増加することを目的としたものである。まちの駅の外観を紹介した「モザイクアート」、まちの駅の自慢ポイントが一目でわかる「まちの駅自慢パネル」の作成を行った。

#### (2) モザイクアート・まちの駅自慢パネルの概要

「モザイクアート（図表.3.1.2 【1】 モザイクアート、参照）」は、まちの駅のシンボルマークをモデルとし、学生が撮影したまちの駅の外観写真を使用して作成した。「まちの駅自慢パネル（図表.3.1.2 【2】 まちの駅自慢パネル、参照）」は、まちの駅の駅名・ゼミ生が考えたキャッチコピー・学生が撮影した内装写真・自慢ポイントを載せた。それを1枚にした「モザイクアート・まちの駅自慢パネル」は、多くの方に個々のまちの駅の魅力を知ってもらおう工夫として、「モザイクアート」の写真一つ一つに番号を振り、「まちの駅自慢パネル」とリンクさせる仕組みにした。

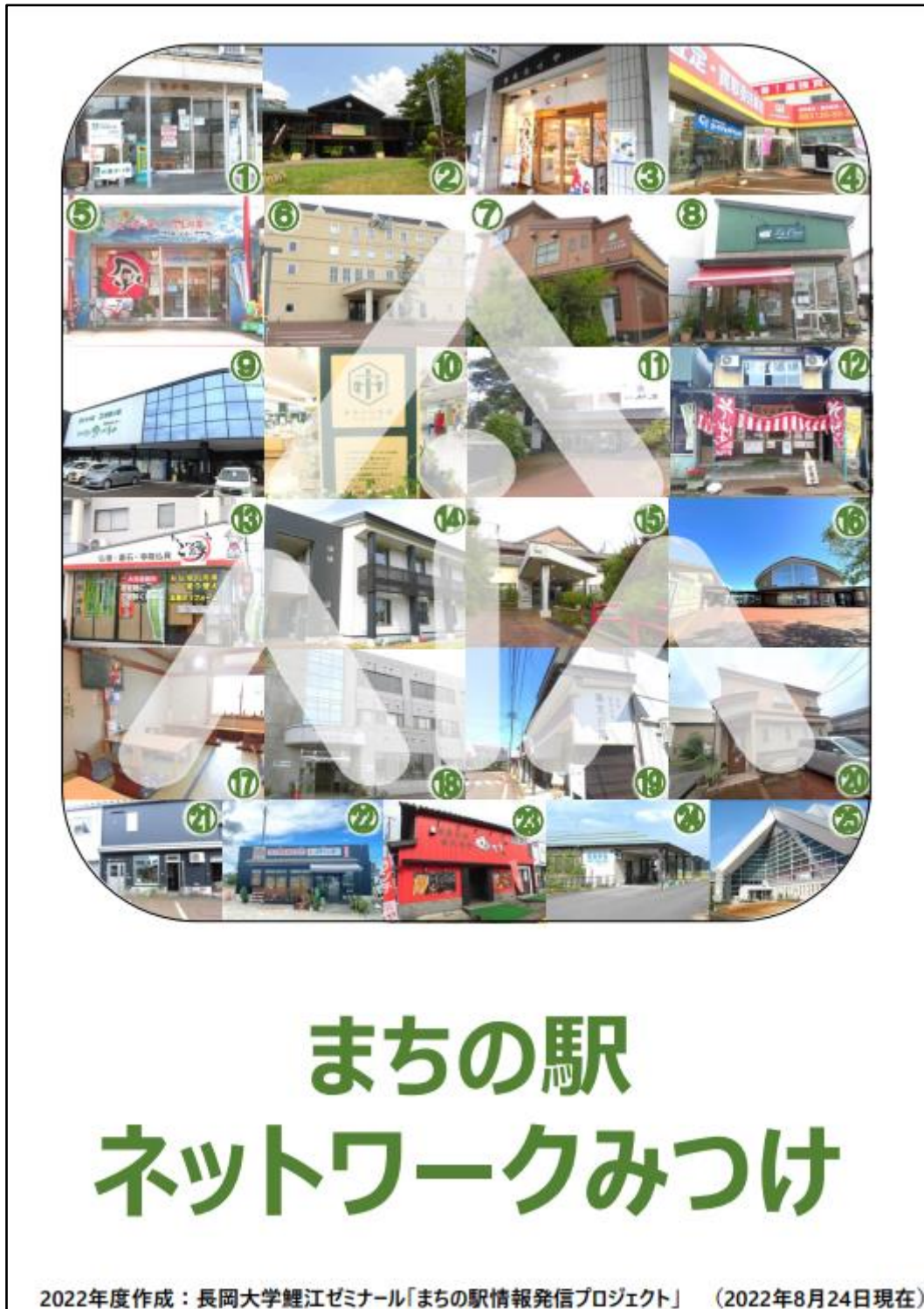
#### (3) モザイクアート・まちの駅自慢パネルに関する活動

パネル作成にあたり、6月中旬にまちの駅ネットワークみつけを対象に活動への協力依頼と日程用紙の配布（＜参考資料1＞ゼミナール活動ご協力のお願ひ、参照）を行い、全42駅中、回答をいただいた25駅で、7月からヒアリングを始め、8月下旬まで行った（図表 3.1.2 【3】 モザイクアート・まちの駅自慢パネル対象駅一覧、参照）。

ヒアリング時に、「3.2 まちの駅パネル作成・更新」で紹介する個々のまちの駅のパネル作成・更新と同時に、「モザイクアート・まちの駅自慢パネル」の作成に取り掛かり、9月中旬に完成した。その後、長岡大学悠久祭、栃尾地域で開催されたイベント「トチオーレ秋あじまつり」にてパネルの展示を行った。12月1日～12月12日にネーブルみつけにて

開催した見附まちの駅パネル展では、パネルの展示とともにチラシ形式で 50 部配布を行った。

図表.3.1.2 【1】 モザイクアート



図表.3.1.2【2】 まちの駅自慢パネル



図表 3.1.2【3】 モザイクアート・まちの駅自慢パネル対象駅一覧

駅名
お菓子の駅【泊屋菓子舗】
里山ログハウスの駅【大平森林公園】
もち好きが集う駅【餅 あわづや】
カーライフステーション【ホンダ自動車有限会社】
元氣創造 今町・くすりの駅【扇長薬局】
まちの駅レアント【イングリッシュガーデンホテルレアント】
まちの駅ほっとぴあ【みつけ健幸の湯ほっとぴあ】
パンの駅【手作りパン工房(天然酵母)ラ・クレア】
まちの駅ネーブルみつけ【見附市市民交流センター】
まちの駅みらい市場【みらい市場】
そば一筋の駅【そば道場】
結柳の駅【(株)割烹 柳屋】
なむなむの駅【仏壇・墓石・寺院仏具 ご縁】
健康な住まいの駅【株式会社 星野工務店】
四季の駅【(株) グランドール四季亭】
川の駅 パティオにいがた【道の駅 パティオにいがた】
和の駅【和食処 海老名】
学びの駅【見附市勤労者支援施設 ふぁみりあ】



駅名
抹茶の駅【茶舗・抹茶茶房 夏目庵】
洋食の駅【洋食レストラン Chez NoA(シェ ノア)】
あかりの駅【(株)あかりテック】
人・農・食の駅【みっけセンター】
焼肉と韓国家庭料理の駅【韓国本格炭火焼肉めい】
花と緑と介護の駅【あおぞら介護サービス】
川の駅 見附市総合体育施設【見附市総合体育施設】

### 3.1.3 まとめ

これらの活動を通して、対面での情報発信だけでは認知度向上という目標達成には足りないと感じた。そのため、ゼミで可能な発信方法として、HP・Instagram を活用した発信を行った。また、作成したパネルをまちの駅ネットワークに配布するなどしてゼミの外へ広げていこうと考えている。

### 3.2 まちの駅パネル作成・更新

今年度は、新駅を含め見附地域で 29 駅、長岡地域で 8 駅の計 37 駅のパネル作成と更新を行った。そのまちの駅パネルの中から今回は 2 駅紹介する。

また、新規作成・更新したまちの駅パネルは、図表 3.2【1】まちの駅パネル作成・更新駅一覧の通りである。

図表 3.2【1】まちの駅パネル作成・更新駅一覧

まちの駅ネットワークみつけ	
お菓子の駅	川の駅 見附市総合体育施設
中華料理の駅	川の駅 パティオにいがた
ほっと一息花みどりの里	里山ログハウスの駅
学びの駅	パンの駅
もち好きが集う駅	洋食の駅
元気創造 今町・くすりの駅	まちの駅 ほっとぴあ
健康な住まいの駅	抹茶の駅
和の駅	そば一筋の駅
カーライフステーション	焼肉と韓国家庭料理の駅
四季の駅	あかりの駅
まちの駅 みらい市場	まちの駅 レアント
結柳の駅	人・農・食の駅
花と緑と介護の駅	なむなむの駅
まちなかの駅	まちの駅 ネーブルみつけ
靴の駅	
越後長岡まちの駅ネットワーク	
まちの駅 長岡大学	まちの駅 名水縄文雪つららの水
花火の駅・長岡花火ワールド悠	まちの駅 森の仲人「千の森」
まちの駅 ギャラリー沙蔵	日本茶の駅
まちの駅 きた町	栃尾表町雁木の駅

図表 3.2【2】ほっと一息花みどりの里とまちの駅長岡大学へのヒアリングの様子



## (1) ほっと一息花みどりの里

「ほっと一息花みどりの里」は、見附市葛巻にある様々な植物を取り扱っているまちの駅である。前回のパネル作成日から日が経っていたため、今回は更新・写真の差し替え・キャッチコピーの作成を行った。

キャッチコピーは「ハッピー不思議植物園」である。駅長さんは植物への愛情が強く、その豊富な知識からお客様の興味のあるものやご希望のものを揃えることで、ハッピーになって帰って貰いたいという想いを抱いていらっしゃることから名付けた。ぜひ一度足を運んで、色とりどりの花と植物に囲まれながら“ほっと一息”癒しを得てほしい。



# ほっと一息花みどりの里

(有)野辺園

庭木や観葉植物・ガーデニングのお花のほか、鯉もいて、癒される駅です。  
お花・庭木・観葉植物etc…植物のことならなんでもおまかせあれ！野辺園さんは、植物のテーマパークです。  
ラッピングやフラワーアレンジメント・ガーデニングなどサービスも充実していて、ここにすれば植物関連のことならなんでも揃っちゃいます！  
お花が大好きな駅長さんはお花・植物についての知識が豊富ですので、お花が好きな方・興味がある方はぜひお立ち寄りください！



キャッチコピー  
ハッピー不思議植物園

お探しのものがお店にない場合は、  
そのご希望に添えるように努力して探してくれます。

野辺園は花キューピット加盟店！  
全国にお花を届けられます！



〒954-0058  
見附市葛巻1-3-33  
TEL:0258-63-0195  
FAX:0258-63-0636  
営業時間:(3~12月)9:00~18:30  
(1~2月)9:00~18:00  
定休日:1月1日~3日・毎月第二水曜日

2022年度作成:内山葵 星美紀 尾身萌々花

~学生の一言~  
綺麗な花やみどりがたくさんあって癒されました。駅長さんは植物への愛情が溢れている方です。私たちが気になった植物についてお話ししてください。さらに植物に興味がありました！お店の中で教えていただいた「ワイルドストロベリー」育ててみようかなと思います♡



## (2) 長岡大学

私たちが在籍している長岡大学は、地域社会に貢献する人材を育成し、地域に開かれた大学として悠久山地域に建学された。まちの駅でもある長岡大学は、地域の憩いの場として学生食堂や図書館などを解放している。学生ホールに自由に使用できるデュアルディスプレイが設置されたことや図書館内のリニューアルを受けてパネルの更新を行った。

キャッチコピーは「地域と一緒に歩む大学」である。足を休める地域の休憩所として地域と共にありたいという想いから名付けた。現在も新型コロナウイルス感染症の影響により学外の方の利用を制限しているが、再開された際はぜひ一度足を運んでほしい。

長岡  
地域

# まちの駅 長岡大学

長岡大学は全国でも珍しい、大学の「まちの駅」です。  
長岡大学の周辺には、悠久山公園、悠久山小動物園、郷土資料館、蒼紫神社、ダイエープロビスフェニックスプール、長岡市悠久山野球場、東山ファミリーランドなどのスポットがあります。  
長岡大学は、地域に貢献する大学を目指し、学生食堂や地域交流ホール、図書館を地域の皆さんにもご利用いただいております。※参照  
毎年9月には悠久祭（大学祭）を開いて地域の皆さんと交流しています。



## キャッチコピー 地域と一緒に歩む大学

### <図書館のご利用について>※参照

- 蔵書数は約7万冊です。学外の方もご利用いただけます。
  - ・ご利用の際は、身分を証明する免許証などを提示していただき、入館申込書に住所・氏名などをご記入いただけます。
  - ・閲覧は無料ですが、図書貸出し時、図書館利用カード登録料300円が必要です。
- 開館時間：9:00～18:45  
(時期によって閉館時刻が変わります。)



〒940-0828 長岡市御山町80-8  
TEL：0258-39-1600  
FAX：0258-33-8792  
時間：9:00～18:45  
お休み：土・日・祝、大学閉鎖日

### ～学生のひとこと～

私たち学生は長岡大学で経済と経営を学んでいます！そのため大学図書館の蔵書約7万冊のうち約4万冊は経済と経営の本となっています。

図書館で本を読んだ後は学食で食事はいかがですか？学生食堂名物「油そば」、ペロリと食べて美味しいんです！

尾身明々花

※2022年度は原則外来者の入校を禁止しています

2022年度作成：星美紀 内山葵

### (3) まちの駅パネルの作成・更新を通して感じたこと

まちの駅パネルの作成・更新活動を通して、まちの駅の方々との交流の機会を得ることができた。まちの駅についてだけでなく、その地域の歴史や駅の方々の人柄など、大学の外だからこそ知れたことが多かった。このことから、地域活性化には地域の方との交流が欠かせないと感じた。

活動に取り組む中で、まちの駅の方との連絡が上手くいかない場面が多々見られた。意外なことに全ての原因がゼミ生というわけではなく、まちの駅にあるケースもあった。具体的には、電話やメール、直接訪問を行い確認作業をお願いしたが、返信をいただけない場面があった。確認作業が終わらなければ次の作業に進めないため、返信があるまで再度確認の依頼を行ったが、まちの駅の方に返信をいただけなかった。これは、まちの駅の意欲の差によって取り組みに温度差があることが原因ではないかと考えられる。また、まちの駅自体が忙しいことやまちの駅の業態や営業、施設形態によってまちの駅の取り組みに参加が難しく、活動に消極的になってしまう場合もある。まちの駅の成り立ちや仕組みを考えると仕方ない部分もあるが、今後もまちの駅の活動を行う上で、意欲がなく参加も少ない駅や意欲はあるが参加が難しいまちの駅を取り込む方法をゼミ生で模索していきたい。

また、今回更新をしたまちの駅パネルはゼミ創設当初から更新されていないものがあった。更新がされておらず古い情報のままのパネルはまだ多く残っており、それでは情報発信としては不十分である。そのため、定期的な更新やまちの駅への定期訪問または一斉に更新する年度をつくることで、まちの駅パネルでの情報発信に努めたいと考えている。

### 3.3 まちの駅パネル展

ゼミでは、これまで作成してきたパネルを用いてまちの駅の特徴や魅力を紹介し、まちの駅の認知度を高めるべく、まちの駅パネル展を開催している。

今年度の開催については、図表 3.3 【1】 まちの駅パネル展実施一覧の通りである。

図表 3.3 【1】 まちの駅パネル展実施一覧

開催場所	日時	展示した地域のパネル
ながおか市民協働センター	7月31日(日) ～8月12日(金)	長岡地域・栃尾地域・寺泊地域・与板地域 和島地域・三島地域・越路地域・小国地域 川口地域・山古志地域・中之島地域 計 50 駅のパネル
市民交流センター ネーブルみつけ	12月1日(木) ～12月12日(月)	見附地域 計 42 駅のパネル
悠久祭 (長岡大学 216 教室)	9月17日(土) 9月18日(日)	新潟県内全まちの駅 計 126 駅のパネル

それでは、ながおか市民協働センターで行われたまちの駅パネル展から順に説明していく。



### 3.3.1 ながおか市民協働センター

#### (1) 開催日時

7月31日(日)～8月12日(金)

#### (2) 場所

ながおか市民協働センター

#### (3) 内容

ながおか市民協働センターの壁面2面を使い、壁から吊り下げる形でパネルを展示した。パネルは各地域ごとに分け、11地域計50枚を展示した。開催期間は長岡まつりに合わせ、より多くの方に見ていただくことができた。

図表 3.3.1 【1】 アオーレ長岡でのまちの駅パネル展の様子



### 3.3.2 市民交流センター ネーブルみつけ

#### (1) 開催日時

12月1日(木)～12月12日(月)

#### (2) 場所

市民交流センター ネーブルみつけ

#### (3) 内容

見附地域42駅のパネルに加え、今年度ゼミで作成した、「まちの駅定義パネル」、「モザイクアート・まちの駅自慢パネル」、「魅力ある駅のリレー紹介パネル」を展示した。さらに、「まちの駅定義パネル」、「モザイクアート・まちの駅自慢パネル」は、チラシ形式での配布も行った。

図表 3.3.2 【1】 ネーブルみつけでのまちの駅パネル展の様子



### 3.3.3 悠久祭

#### (1) 開催日時

9月17日(土)、18日(日)

#### (2) 場所

長岡大学 216 教室

#### (3) 内容

コロナ禍で中止となっていた長岡大学悠久祭が3年ぶりに開催され、ゼミではまちの駅パネル展を行った。新潟県内の「まちの駅パネル」に加え、「まちの駅定義パネル」、「モザイクアート・まちの駅自慢パネル」、「魅力ある駅のリレー紹介パネル」も展示した。さらに情報発信の手段として制作した「PV」も放映し、ゼミでこれまで積み重ねてきた活動と今年度の活動を一挙に見ることができるようパネル展にした。パネルは地域別に分け、来場者の方々が見やすいように工夫を凝らし展示したため、見ごたえのあるものとなり、まちの駅についてPRできたのではないかと感じている。

今年度のまちの駅パネル展来場者は168名となり、多くの方に見ていただくことができた。悠久祭でのパネル展を経験しているゼミ生は1人もおらず苦労したため、来年度はスムーズに行えるようにしていきたい。

図表 3.3.3 【1】 悠久祭まちの駅パネル展の様子



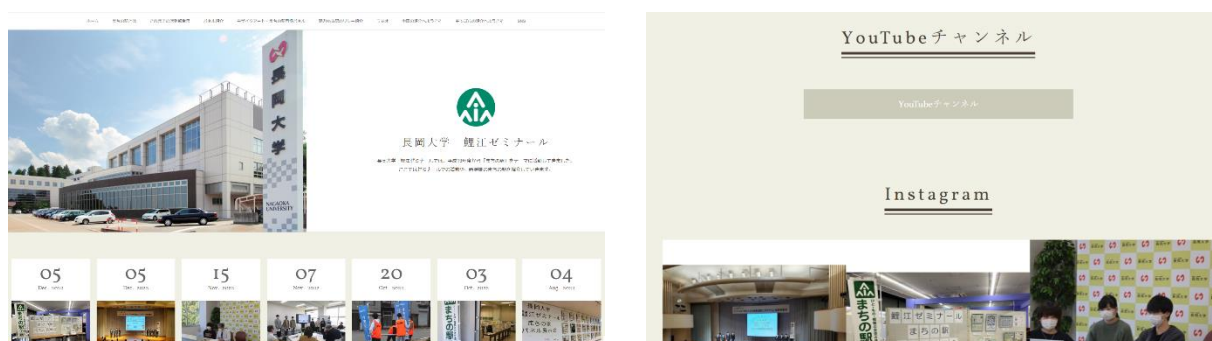
### 3.4 ホームページ等を通じた情報発信

まちの駅の認知度向上のための情報発信方法として、今年度もホームページ、Instagramを活用した。SNSを媒体にすると手軽に情報にアクセスできるため、まちの駅を知ってもらうきっかけとして有効だと考えた。さらに、新たな取り組みとしてまちの駅PV制作も行いまちの駅の認知度向上を図った。そして、ホームページを中心として、ホームページ、Instagram、まちの駅PVを相互に連携させ、情報発信を強化した。

### 3.4.1 ホームページ

昨年度一新したゼミのホームページでは、新潟県内のまちの駅紹介パネルやゼミの過去の活動報告書などを掲載し、ブログの更新も行ってきた。まちの駅紹介パネルは 37 駅更新し、ブログは 9 回投稿した。今年度はそれらに加え、まちの駅定義パネル、モザイクアート・まちの駅自慢パネル、魅力ある駅のリレー紹介パネルも掲載した。さらに、ホームページからゼミの Instagram や YouTube にアクセスできるようにして情報発信ツールを連携させ、まちの駅の認知度向上に向けホームページを中心としたより強固な情報発信の基盤を築いた。昨年度よりもホームページ全体の内容量などがパワーアップし見ごたえのあるものとなっている。

図表 3.4.1 【1】 ホームページ



Google や Yahoo! 等で鯉江ゼミナールと検索すると、このホームページにアクセスできる。あるいは、長岡大学のホームページから「メニュー」→「大学情報」→「まちの駅長岡大学」→「鯉江ゼミナールまちの駅紹介」の順に進む方法でもアクセスできるようになっている。

図表 3.4.1 【2】 ホームページへのアクセス方法



### 3.4.2 Instagram

昨年度に引き続き Instagram を活用し、ゼミ活動の様子やまちの駅の情報定期的に発信している。今年度は投稿だけでなく、ストーリー機能でイベントの様子をリアルタイムで発信したり、新たに制作した PV にもアクセスできるようにハイライト機能で閲覧できるようにした。また、多くのユーザーの目に留まりやすいような工夫として、昨年度より

ハッシュタグの数を増やした。

今年度の投稿数は47回、フォロワー数は昨年度の76人から112人（2022年12月26日現在）に増加している。まちの駅の認知度向上には一定の成果が出ているのではないかとと思われる。

図表 3.4.2 【1】 Instagram 投稿内容



図表 3.4.2 【2】 Instagram QR コード



### 3.4.3 まちの駅 PV 制作

私たちは、まちの駅の魅力を隅々まで堪能してもらい認知度を高めたいと考え、新たな情報発信について模索した。ゼミではまちの駅紹介パネルを主軸に様々な方法で情報発信を行っている。その中で、より多くの人に気軽に知ってもらうきっかけになる SNS での発信はさらに力を入れるべきだと考えた。そこで目を付けたのが動画制作である（図表 3.4.3 【1】 PV を制作したまちの駅一覧、参照）。これまで写真と文字で伝えていたまちの駅の魅力を、動画であれば駅の雰囲気や駅長さんの人柄などを詳しく鮮明に伝えることができる。そこで、まちの駅を映像で紹介するまちの駅 PV の制作を行った。動画の構成は、ただ見ってもらう動画ではなく、実際にまちの駅に訪れた雰囲気のものとした。制作したまちの駅 PV は、YouTube にて発信した（図表 3.4.3 【2】 YouTube に投稿したまちの駅 PV のサムネイル(抜粋)、参照）。

初めに制作した「まちの駅 ギャラリー沙蔵」「まちの駅 名水縄文雪つららの水」「まちの駅 きた町」の PV は、肖像権の問題などの観点から人の顔を映さず駅の様子やモノ中心の動画となっている。しかし、これでは、人との繋がりを大切にしているまちの駅の魅力が伝わりにくい。そのため、その後制作した「まちの駅 森の仲間」「千の森」「花火の駅・長岡花火ワールド悠」「まちの駅 寺泊」の PV は駅の方やまちの駅の来訪者に許可を取りながら撮影し、人の顔を映すように変更した。駅の日常風景や人の表情を映すことで、人との繋がり・まちの駅での交流が表現できるようになった。

PV 制作の数値目標としては、投稿本数 10 本、総再生回数 1,000 回と設定していたが、結果は投稿本数 10 本（実際は、ショート動画を除けば 6 駅である）、総再生回数 634 回となり、総再生回数は伸び悩んだ。このままではいけないと思い、伸び悩みの原因と今後の取り組み方針について話し合った。話し合いで分かった原因としては、目標を見失ってしまったことである。始めは、最終目標「認知度向上」を意識して数値目標を設定していた



が、動画を制作しているうちに PV を完成させること、投稿をすることに一生懸命になってしまい、数値目標自体が最終目標であると考えてしまっていた。最終目標までたどりついていなかったことに気づき、投稿ではなく発信を意識しなければならないと分かったことで、参加した各種イベントで PV を放映する直接発信に取り組んだ。

図表 3.4.3 【1】 PV を制作したまちの駅一覧

PV	ショート動画
まちの駅 ギャラリー沙蔵	まちの駅 ギャラリー沙蔵
まちの駅 名水縄文雪つららの水	まちの駅 名水縄文雪つららの水
まちの駅 きた町	まちの駅 森の仲人「千の森」
まちの駅 森の仲人「千の森」	花火の駅・長岡花火ワールド悠
花火の駅・長岡花火ワールド悠	まちの駅 寺泊
まちの駅 寺泊	
計 6 駅	計 5 駅

図表 3.4.3 【2】 YouTube に投稿したまちの駅 PV のサムネイル(抜粋)



### 3.4.4 まとめ

ホームページ等を通じた情報発信を行い感じた SNS の課題は、まちの駅に興味がある人が自主的に検索するまで待つ「待ち」のツールであることである。また、まちの駅を利用する人やまちの駅の駅長さんは高齢者が多い。それらの方々に情報を届け、認知度を向上させるには SNS による発信では一定の限界があるとも感じた。このことから、まちの駅に興味を持っていただき、SNS に誘導するまでの「攻め」の手段や工夫が必要であると考えた。そこで、SNS による単なる情報発信だけでなく、ターゲット層に応じた SNS ガイドや誘導に取り組む「攻め」の手段を工夫し、「待ち」のツールである SNS の利用容易性を高め、その先の認知度向上までを一連の流れとして捉える必要があると考える。そのためにもまずは、「待ち」のツールである SNS が誰でも検索できるように取り組み、検索しても安心であるということを伝えることが最重要である。その上で、見た目やデザインを変えるなど、魅力的なホームページ・SNS を作り、更新頻度を上げていきたい。

## 4. まちの駅交流プロジェクト

今年度の活動テーマ「まちの駅魅力再発見プロジェクト」の目標の1つである、まちの駅の連携機能強化を図るためにはまちの駅同士での交流を深めることが重要である。そこで、私たちは「まちの駅交流プロジェクト」を立ち上げ、「魅力ある駅のリレー紹介」と各種イベント(まちの駅めぐり、新駅まちの駅めぐり、トチオーレ秋あじまつり、まちの駅全国大会、成果発表会、花はすボランティア)への参加に取り組んだ。

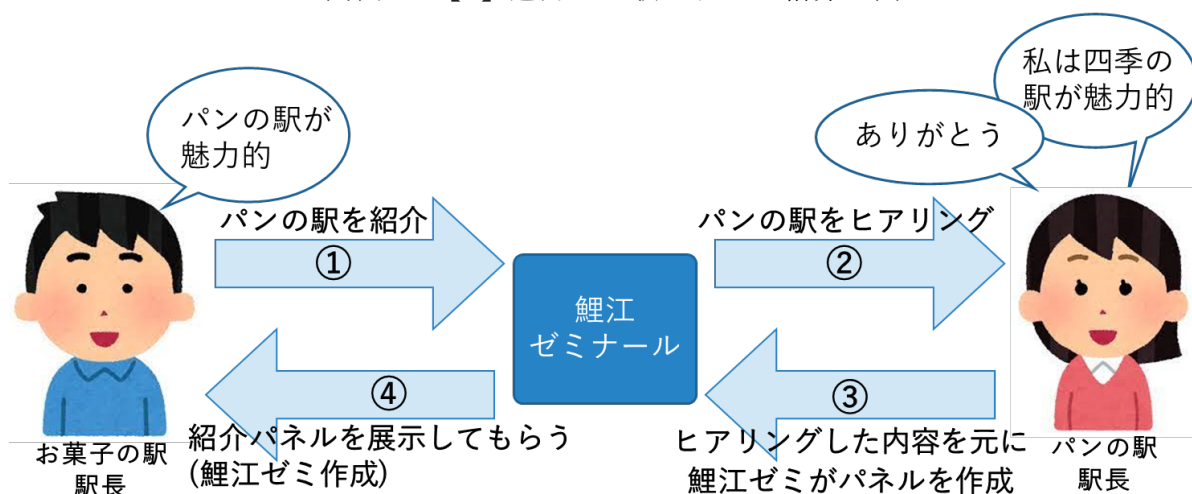
### 4.1 魅力ある駅のリレー紹介

#### (1) 経緯

まず、私たちは目標を達成するためにどのような取組みをするべきか検討した。交流を深める取組みといえばイベントの開催ではないかとも考えたが、計画段階では新型コロナウイルス感染症拡大が続いていたため、大規模のイベント開催は難しい状況だった。また、今後も新型コロナウイルスの影響が続くと思われるため、コロナ禍での新たな交流を考える必要があった。さらに、昨年度のアンケート調査の結果からまちの駅同士の交流は各駅の業態や参加意欲などに左右される傾向が分かっていたため、参加業態・意欲が偏りやすい大規模イベント開催は案から除外した。検討する際に意識していた点は、新型コロナウイルス感染症に配慮していること、他のまちの駅を知ることができること、継続性のある活動であることの3点である。さらに、交流をするためには、他のまちの駅を知る必要があり、取組みを通して交流の土台を作りたいと考えていた。

案を複数考え、交流をするためには他のまちの駅を知る必要があると感じていた私たちが目をつけたのは、ゼミが毎年作成しているまちの駅を紹介するパネルである。このパネルを他の方法でも活用できるのではないかと思い、パネルをリレーのバトンに見立て、まちの駅同士を繋げる取組みを考案した。そこで、ゼミ生がまちの駅同士の架け橋となり、まちの駅に赴いて「まちの駅が知りたい駅、魅力的と感じる駅」をヒアリングし、作成したパネルを紹介元の駅に届ける「魅力ある駅のリレー紹介」に取り組むこととした。

図表 4.1 【1】 魅力ある駅のリレー紹介の図



## (2) 活動計画

対象地域についてはまちの駅ネットワークみつけに決定した。理由としては、他のまちの駅を紹介していただき交流を促すことから、ある程度規模があるネットワークが適していること、まちの駅ネットワークみつけは比較的活動が活発であることなどが挙げられる。また、リレー紹介の始まりの駅はゼミで相談し「お菓子の駅」にお願いすることとした。

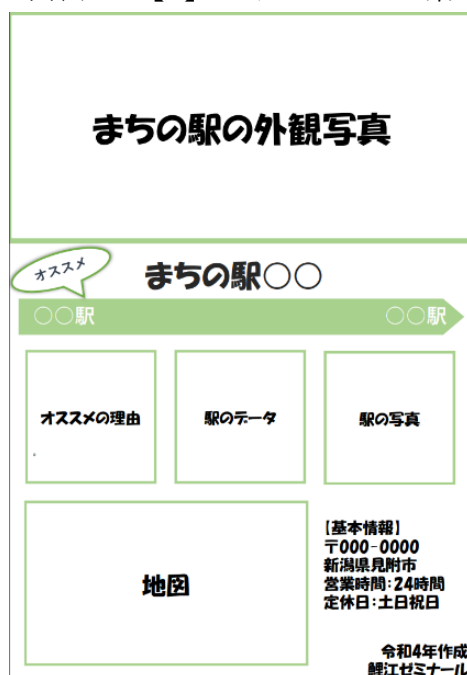
パネル作成の流れは以下の通りである（図表 4.1 【1】 魅力ある駅のリレー紹介の図、参照）。

- ① 紹介していただいたまちの駅にアポイントを取る
- ② まちの駅に訪問しヒアリング、お勧めいただいた次駅にアポイントを取る
- ③ ヒアリングで得た内容を元にリレー紹介パネルを作成する
- ④ 作成したリレー紹介パネルをまちの駅に確認していただく
- ⑤ リレー紹介パネルを修正し、完成させる
- ⑥ 完成したリレー紹介パネルをラミネートし、紹介元のまちの駅にお届けする

この流れを繰り返して魅力ある駅のリレー紹介を続け、まちの駅の連携機能強化を目指した。また、計画策定後の活動期間を2か月半と設定した。この1～6までの流れをおおよそ1週間と仮定し、今年度は10駅行うこととした。

リレー紹介パネルデザインも考案した。リレー紹介パネルのデザインはこれまでのパネルとは全く異なるものにしようというゼミ生の意見があった。これまでは個々のまちの駅を詳しく紹介したパネルであったが、リレー紹介パネルはパネルを駅名票に見立てておすすめた理由などを簡潔に載せたものとし、まちの駅同士を繋ぐボタンとしてデザインと内容を大きく変えた。また、従来の紹介パネルの半分のA4サイズとした（図表 4.1 【2】 パネルデザイン案、参照）。

図表 4.1 【2】 パネルデザイン案



### (3) 実施内容

5月末までに魅力ある駅のリレー紹介の計画を立案し、6月7日に見附市地域経済課地域産業係の山田様、内藤様から計画についてアドバイスをいただいた。こうして完成した計画を、6月27日に行われたまちの駅ネットワークみつけ駅長会議にて発表し、まちの駅の方々にご協力をお願いした。

7月からまちの駅の方々のご協力を得て、魅力ある駅のリレー紹介が始まった。リレー紹介の始まりの駅はお菓子の駅である。ゼミ生の活動を快く受け入れてくださり、まちの駅の方に応援していただきながら活動をスタートした。そこからは各駅の方々が魅力的と思う駅を紹介し、ゼミ生が次駅を訪問していった。実際にヒアリングに伺った日程は図表4.1【3】ヒアリング日程の通りである。

図表 4.1【3】ヒアリング日程

日付	まちの駅名
7月07日	お菓子の駅
7月21日	パンの駅
7月28日	四季の駅
8月23日	焼肉と韓国家庭料理の駅
8月31日	靴の駅
9月06日	まちなかの駅
9月13日	中華料理の駅
9月21日	カーライフステーション ほっと一息花みどりの里
9月22日	まちの駅 ほっとびあ

ヒアリングでは、まちの駅の方からは駅の情報や地域の成り立ちなどをお聞きし、楽しい時間を過ごした。

今年度は予定通り10駅行うことができた。予定していた活動期間は2ヶ月半だが、前期末試験とお盆休みを抜けば予定以上の早さで活動できたことが分かる。まちの駅の方々のご協力あってこそその活動であった。

比較的時間のあった夏休み期間に活動を行いパネル作成にも力を入れたため、ほぼ毎日大学やまちの駅に通い詰めた。活動の特性上、複数の駅と同時に連絡を取り進めなければならず、漏れのない日程管理や情報共有が必要であったため、ゼミ生内でスケジュール共有アプリなどを活用し綿密な情報共有を心がけた。

完成したリレー紹介パネル（図表 4.1【4】魅力ある駅のリレー紹介パネル一覧、参照）は、順次各まちの駅に展示していただいた。また、ゼミのホームページ・Instagramにアップロードし、リレー紹介パネルの全体像を見ていただける形にした。これにより、まちの駅同士の交流・連携はもちろん、まちの駅に訪れた来訪者の方にもPRすることができた。



図表 4.1 【4】 魅力ある駅のリレー紹介パネル一覧



(4) まとめ

今回の魅力ある駅のリレー紹介では、パネルを通してまちなの駅の方々に繋がりや連携を意識していただくことができ、他のまちなの駅を知るお手伝いや交流の土台を築くことができた。ゼミ生もまちなの駅の方々と関わることで地域連携の仕組みや難しさなどを身をもって感じる事ができた。

魅力ある駅のリレー紹介は、来年度以降も継続できる活動のため、10駅目の「まちなの駅 ほっとぴあ」から再開し次駅へと繋げていきたいと考えている。

## 4.2 各種イベント

私たち学生がまちの駅同士の架け橋となり交流を促すためには、まず私たち自身がまちの駅の魅力を知る必要があると考え、様々なまちの駅イベントに参加した。

学生がまちの駅の魅力を改めて知ること、まちの駅の方々と交流し連携機能の強化を図ることを目的とする。加えて、まちの駅と共に地域の方々と交流し地域を盛り上げていくこと、参加を通し地域やまちの駅の意見を拾い上げ、より良い地域活性化の方法を模索していくことも目的とした。

また、地域貢献活動として今年度も「花はす展示」のボランティアを行った。

### 4.2.1 まちの駅めぐり

まちの駅ネットワークみつけが主催する「まちの駅めぐり」にゼミ生が参加した。「まちの駅めぐり」とは、見附市内のまちの駅を日帰りめぐるバスツアーである。まちの駅に関する生の声などを聴き、今後の地域活性化活動に役立てたいと思い、まちの駅ネットワークみつけにお願いしてご厚意で参加させていただいた。

#### (1) 参加日時、場所

7月30日、9月8日、11月10日の3回参加する予定であったが、初めに参加予定だった7月30日は、開催直前に新型コロナウイルス感染症感染者数の急増により、やむなく中止となってしまった（＜参考資料2＞7月まちの駅めぐり、参照）。その後次回の開催も危ぶまれたが、なんとか9月8日、11月10日は開催でき、ゼミ生も参加することができた。参加した日程でめぐったまちの駅と順路は以下の通りである。

★ 9月8日（木）5駅（＜参考資料3＞9月まちの駅めぐり、参照）

まちなかの駅→里山ログハウスの駅→和の駅→パンの駅→まちの駅ほっとぴあ

★ 11月10日（木）6駅（＜参考資料4＞11月まちの駅めぐり、参照）

カーライフステーション→川の駅見附市総合体育施設→ミルクステーション→まちの駅レアント→越後の酒.com 地酒のヒラセ→お菓子の駅

図表 4.2.1 【1】 まちの駅めぐりの様子



#### (2) 内容、まとめ

今回、私たちは参加者の方々と会話するなかで、なぜまちの駅めぐりに参加したのか質問した。すると、「人と交流できるから」「人と話して頭を動かせるし体も動かせるから健康のために参加した」「一日で複数の場所に行け新たな発見があり楽しいから」と答えてくれた。

参加者は高齢者の常連さんが多いことから、まちの駅めぐりは人と交流でき健康的で楽しいイベントであることが分かる。加えて、まちの駅ネットワークみつけの方からもまちの駅めぐりはお買い物中心から体験重視にしていきたいという今後のお話があり、まちの駅が地域の中心となり地域活性化に取り組んでいると身をもって感じる事ができた。

また、まちの駅には「動(運動)・食(食事)・参(社会参加)」が揃っていると感じた。「動・食・参」は、社会で生き生きと過ごすための大切なものである。まちの駅を利用する人や駅長さんは高齢者が比較的多く、まちの駅には、これまでの来訪者と地域を繋ぐ役割に加え、新たなあり方もあるのではないかと感じた。

ゼミ生と駅との交流では、今年度ヒアリングできなかった駅に対してまちの駅めぐりの際に、来年度のパネル更新の協力をお願いした。来年度以降のまちの駅活動で交流連携していくという今後の活動についてお話できた。

まちの駅めぐりを通して、まちの駅や地域の方々と直接交流することができた。ヒアリングでまちの駅を訪問することはあったが来訪者として利用することは少なく、新鮮な気持ちでまちの駅を楽しむことができ、まちの駅は人と人が出会い、交流する場であることを再認識する機会となった。

#### 4.2.2 新駅まちの駅めぐり

##### (1) 参加日時

令和4年9月26日(月)

##### (2) 場所

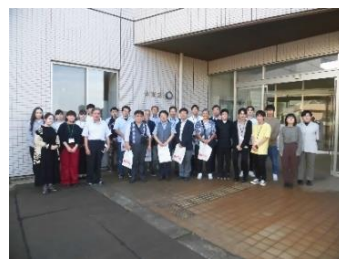
長岡大学(キャンパスツアー)

##### (3) 内容

「新駅まちの駅めぐり」(<参考資料5> 新駅まちの駅めぐり、参照)は、各まちの駅への理解を深めネットワークの繋がりを強める目的で、まちの駅ネットワークみつけが毎年行っている、駅長が新しく加盟したまちの駅をめぐるバスツアーである。まちの駅ネットワークみつけから、「今年度も開催予定だが今年度加盟したまちの駅が1駅のため、まちの駅長岡大学とゼミがオススメするまちの駅をめぐりたい」とのご相談があり、ゼミ生がまちの駅を紹介した。

事前に長岡まちなかエリアのまちの駅「花火の駅・長岡花火ワールド悠」「まちの駅「越後通信」編集部」「まちの駅 ギャラリー沙蔵」を紹介し、そのうちの2駅とまちの駅長岡大学をめぐっていただいた。

図表 4.2.2 【1】 新駅まちの駅めぐりの様子





#### (4) まとめ

キャンパスツアーでまちの駅長岡大学について知っていただいた。まちの駅長岡大学の駅長丸田様とゼミ生が「まちの駅 長岡大学」を紹介し、参加した駅長の方々と交流することができた。鯉江ゼミが以前から交流している駅が多く、駅長とゼミ生の交流が活発に行えた。ゼミ生が駅長さんからの質問に答えるなど、セミナーで活動している成果が活きた良い機会であった。

#### 4.2.3 トチオーレ秋あじまつり

栃尾地域交流拠点施設トチオーレのオープニングイベント第2弾「トチオーレ秋あじまつり」に参加した。ゼミ生が制作した「まちの駅紹介パネル」や「まちの駅PV」などを展示・放映し、イベントスタッフとして運営をお手伝いした（<参考資料6> トチオーレ秋あじまつりチラシ、参照）。

##### (1) 開催日時

令和4年10月9日(日) (パネル展：令和4年10月3日～9日)

##### (2) 場所

栃尾地域交流拠点施設トチオーレ

##### (3) 参加経緯・イベント準備

本ゼミのアドバイザーである須貝様から、トチオーレ秋あじまつりでまちの駅物産交流会を行うため、鯉江ゼミも参加しないかとお声がけをいただいた。

ゼミとしてはぜひ参加させていただきたいとお返事し、まずは9月5日に行われた第1回まちの駅物産交流会実行委員会に参加した。実行委員会の打ち合わせとしては、参加者の顔合わせと出展内容の確認・共有である。

本ゼミでは、これまでの活動でながおか市民協働センターやネーブルみつけでまちの駅紹介パネル展を開催しているため、トチオーレ秋あじまつりでもパネルを展示したいとお伝えした。結果、パネル展示の出店が決定した。また、ご厚意でトチオーレのエントランスにて展示させていただけることとなった。しかし、ゼミ生のほとんどがトチオーレに行ったことがなく、トチオーレ担当係長の武士様から一度来てみてはどうかとお話があり、9月6日にトチオーレで第一回の見学・下見をした（図表4.2.3【1】トチオーレの見学・下見、参照）。

一回目の見学・下見では、パネルの展示場所や必要物品、貸出し備品などを確認した。そこでゼミのPV制作の話題となり、屋内でのパネル展示の近くで放映する許可をいただいた。まちの駅をPRするまたとない機会のため、パネル展示に合わせて動画放映についても準備していくこととなった。

その後、パネル展と動画放映のために9月9日、27日にトチオーレに伺い、準備を進めた。準備に通う中で、トチオーレ秋あじまつり当日の野外ステージで動画を流すことになった。ステージイベントの合間に大型モニターでPVを数度流すことが決まり、パネル展についてもイベント当日だけではなく数日間展示させていただけないかと交渉した。その結果、イベント1週間前の10月3日から9日までパネルを展示できることになった。ゼ

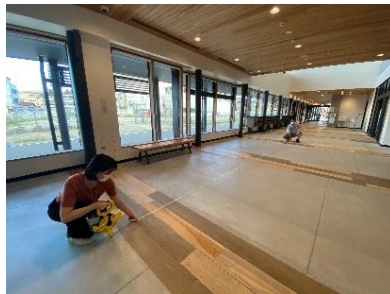
ミ生は急いでパネル展の準備やトチオーレでの機材確認、当日放映する PV の編集などに取り掛かった。

9月28日には須貝様から、越後長岡まちの駅ネットワーク事務局の出店テントでゼミの PV を流さないかとのお話をいただいた。このことから、本ゼミは当日3ヶ所で動画を放映できることになった。

9月30日に現状の進捗情報確認のため、須貝様と打ち合わせを行った。当日のゼミの活動やパネル展示方法、PV放映、当日のトチオーレまでの移動手段、まちの駅物産交流会の流れ、事務局ブースのお手伝い内容などを共有した。また、ゼミで制作した「まちの駅定義パネル」も事務局ブースで展示していただけることになった。

10月3日にまちの駅パネルを搬入・設営し、イベントよりも一足先にパネル展示が始まった。

図表 4.2.3 【1】 トチオーレの見学・下見



#### (4) イベント当日

トチオーレ秋あじまつり当日は、会場に到着後、まちの駅物産交流会の設営準備からイベント全体の設営準備まで行い、まちの駅の方々やスタッフの方、地域の方々と交流しつつイベントがスタートしていった。ゼミ生が行った主な活動は以下の通りである（図表 4.2.3 【2】 トチオーレ秋あじまつり当日の様子、参照）。

##### ① PV 放映

PV は鯉江ゼミパネル展示横小型スクリーン、ステージの大型モニター（野外ステージイベントの合間）、越後長岡まちの駅ネットワーク事務局出店ブースの3カ所で放映した。今回動画で紹介したまちの駅は「まちの駅 ギャラリー沙蔵」、「まちの駅 名水縄文雪つらの水」、「まちの駅 森の仲間【千の森】」、「花火の駅・長岡花火ワールド悠」の順に4駅である。特にステージの大型モニターは飲食スペースからも見る事ができたため、予想よりも多くの方々に見ていただけた。放映に併せてイベント司会進行の方の協力をいただき、ステージでまちの駅をPRした。

##### ② パネル展示

トチオーレのエントランスにて、今年度更新したパネルを含めた越後長岡まちの駅ネットワークのまちの駅のパネルを展示した。エントランスという人が行き交う場所で展示できたことにより、まちの駅パネルが多くの来場者の目に留まり、知ってもらえることができたのではないかとと思う。その中で、パネルに興味を持ってくださった来場者にまちの駅の

パンフレットを渡し、まちの駅についての説明を行った。

### ③ ボランティア活動

まちの駅物産交流会でまちの駅のパンフレットを配布する等のまちの駅 PR 活動を行った。パンフレット配布はもちろん、展示したまちの駅定義パネルを活用して来場者にまちの駅を紹介することができた。さらに、イベント式典に出席していた長岡市長にも、まちの駅についてお話しする機会があった。長岡市長にまちの駅の概要とゼミの活動についてお伝えしたところ、社会や環境変化によるトレンドとそれに合わせた発信が大切であるとのお話をいただいた。

まちの駅 PR 活動に加え、イベントスタッフとして会場運営に携わった。内容は会場のアルコール消毒作業、ゴミ回収、案内と多岐に渡った。しかし、イベントスタッフの活動では、まちの駅の認知度向上に努める時間が足りず、地域の人に対してまちの駅の魅力を伝えきれなかったと感じている。本来のまちの駅を PR するという役割から少し離れてしまったが、地域の方々と交流する良い機会になり、地域活性化やイベント盛り上げの一助を担うことができた。

### ④ 着ぐるみ補助

栃尾地域のマスコットキャラクター「あぶらげんしん」と地域の方が触れ合う際に、撮影の協力や近寄りやすいように声掛けを行った。また、ゼミ生自ら着ぐるみを着用し、イベントを活気づける一役を担った。始めは声掛けが難しくなかなか動けなかったが次第に慣れ積極的に行うことができた。子供から年配の方まで様々な年代の方と広く交流することができ、運営スタッフの方との新たな繋がりを構築することができた。

図表 4.2.3 【2】 トチオーレ秋あじまつり当日の様子



### (5) イベント後、まとめ

トチオーレ秋あじまつりが終了し片付けと搬出を行った後、まちの駅物産交流会に参加したまちの駅の方々と記念撮影を行った。各まちの駅や地域の方々と交流することができ、まちの駅同士の交流も活発になり連携機能強化に一步近づけたと感じている。また、ゼミの活動を発信する場をいただけたことは非常に感謝している。それによって地域の人と交流することにもつながり、まちの駅の魅力を再認識していただけたのではないかと考える。今回のイベントは、楽しみながら地域貢献ができた。今後も引き続きまちの駅を盛り上げるべく、楽しく取り組んでいきたい。

#### 4.2.4 まちの駅全国大会

「まちの駅」は、トイレを無料で利用できる“休憩機能”、まちの駅案内人が地域の魅力を伝える“案内機能”、人と人が出会う“交流機能”、まちの駅同士がネットワークで繋がる“連携機能”の4つの機能を持つ街なかのふれあい拠点である。「まちの駅全国大会」は、全国のまちの駅のメンバーが一堂に集まり、情報交換と親睦を図るために毎年開催されている。まちの駅の“連携機能”において最大規模の活動で、本年度は鹿児島県で開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延が収束せず、昨年度に引き続きオンラインでの開催となった。

ゼミでは、平成19年度より「まちの駅」を対象として調査・研究を行っている。まちの駅に携わる一員として全国のまちの駅の方々にゼミの活動を発表し、また、ゼミ生も他のまちの駅の活動を知り交流を深めるべく参加した。全国大会を通じて、各駅の取組や現状、課題点を把握し次の活動に活かすとともに交流の輪を広げることを目的とする。

##### (1) 開催日時

令和4年11月11日（金）

##### (2) 参加場所

長岡大学 第5会議室

##### (3) 内容

開催プログラム（＜参考資料7＞ まちの駅全国大会チラシ、参照）

- ① 開催挨拶
- ② 事務局報告：まちの駅のあゆみ
- ③ パネルディスカッション
- ④ まちの駅活動 リレースピーチ
- ⑤ グループディスカッション

「④ まちの駅活動 リレースピーチ」では、事前に参加を希望した駅・団体がスピーチを行った。鯉江ゼミは今年度の活動報告をした。新規の活動報告が多く、本ゼミのように毎年継続して報告する団体は少数である。これからもまちの駅活動を続けて貢献していきたい。

「⑤ グループディスカッション」では、テーマごとに5グループに分かれて意見交換を行った。私たちは、テーマ「マップづくり」に参加した。参加団体は本ゼミのほか、まちの駅ネットワークかぬま（栃木県鹿沼市）、まちの駅ネットワーク本庄（埼玉県本庄市）、NPO 法人地域交流センターである。ゼミは、過去に制作した越路地域のまちの駅マップと、各駅1枚制作しているまちの駅紹介パネルを紹介した。他地域のマップ内容や特徴、作成方法を聞いた後、質問や議論を進めた。また、デジタル化が進むなかで、どのようにマップやまちの駅の情報発信していくかが課題にあげられた。参加した駅長からは、SNS等の発信に疲れてしまい継続が難しいという悩みが多かった。その際、ゼミの発信活動や「まちの駅情報発信プロジェクト」の話題になり、鯉江ゼミはなぜ発信し続けられるのかとの質問をいただいた。本ゼミとしては、今年度の活動目標の一つである「認知度向上」の達成手段として情報発信に力を入れており、まちの駅を盛り上げるために情報発信が重



要であるという共通認識があることと、発信の担当者を決めず、ゼミ全体で情報発信をしていこうという意識が強いことが継続できる理由ではないかと伝えた。

図表 4.2.4 【1】 まちの駅全国大会参加風景



#### (5) まとめ

全国大会には、まちの駅の方のほか役所、NPO、全国まちの駅連絡協議会から参加者がおり、まちの駅に関わる様々な立場の方のお話を聞いて交流ができた。本ゼミは県内を活動エリアとしているため、他県との交流機会は貴重である。今年度はマップづくりや情報発信について各地の取り組みを知り、ゼミのマップ・情報発信の改善点を考える機会となった。また、全国まちの駅連絡協議会事務局長橋本様より、「鯉江ゼミナールの学生がいることで様々な活動ができて、長岡や見附のネットワークは大変うらやましい」と言っていた。また、ゼミの活動がまちの駅活動に良い影響を与えているのだと感じた。

#### 4.2.5 成果発表会

地域活性化プログラムに参加するゼミナールの今年度活動の成果を13分で発表する。

##### (1) 日時

令和4年12月3日(土) 13:00~17:15

##### (2) 場所

ホテルニューオータニ長岡 NCホール

##### (3) 発表内容及びアドバイザー

発表内容：『まちの駅魅力再発見プロジェクト』

全国まちの駅連絡協議会 関東甲信越運営幹事 久住幸靖 氏

NPO 法人市民協働ネットワーク長岡 コーディネーター 須貝友紀 氏

##### (4) 内容

今回の成果発表に向けて多くの活動を行ってきた。その活動を振り返り今年度の活動に対する考察をアピールした。

中間発表会では、成果発表会に向けて今年度行った活動の全てを発表した。アドバイザーの久住様、須貝様からは、非常に多くの活動をしてきたので、そのすべてを時系列で発表すると活動してきたことがぼやけて見える。また、目的や伝える相手、内容が端的に表現されていないとの問題点が挙げられた。一方で、活動としてはまちの駅の人達と直接関



わりながら積極的に活動されたことが伝わるとの評価をいただいた。さらに、学生自身が得た経験も伝えるようにと指摘を受けた。そこで、学外の方とのやり取りや多忙なフィールドワークなど苦労があったと感じ取れる発表を目指すこととした。また、中間発表の発表時間は23分となり成果発表会での発表時間13分という時間を大幅に超えていた。内容を端的にするだけでは発表時間に収められない問題があった。

中間発表会直後にゼミ全体で振り返りを行い、スライドと原稿を練り直した。今年度の活動全てを発表するのではなく、活動の重要な部分に絞って報告することにした。発表で全てを伝えきれないことは残念だったが、ゼミで取り組んできた活動部分を削り、発表練習も本格的に始めた。原稿を読むスピードや発声時には抑揚をつけるなど工夫し、ゼミ生一丸となって取り組んだ。そのため、発表直前にはゼミ生一同自信を持って発表できるようになり、発表時間も13分に収めることができた。

図表 4.2.5 【1】 成果発表会での発表風景



#### (5) まとめ

成果発表会では、中間発表会での指摘をしっかりと改善することが出来た。アドバイザーの久住様、須貝様から「事業全体で何をしたのかがよく分かり、特に注目してほしいポイントも本当に良く伝わってくる発表だった。事業全体を通して、学生の発想とスキルが特に生きていた活動ではないかと思う。PR や情報発信について、まちの駅の方の多くはSNS を使ってきた世代ではないため、スキルを習得するところから始めなければいけない。情報発信したいという気持ちがあっても一歩を踏み出すことが難しいが、鯉江ゼミが学生の能力を活かしてまちの駅をPR してくださったと思う。また、学生が全国大会で発表した内容を参考に、全国まちの駅ネットワークの代表の方々が実際に活動を変化させている。今後はもっと前のめりになって、失敗するぐらいの勢いで自信を持って突っ込んで活動してほしい。」とのお話があった。

今年度の活動を通して「まちの駅」の魅力を再発見するだけでなく、発表を聞いてくださった方々にゼミの活動を知っていただける機会となった。

来年度は、これまでの活動よりも一歩踏み込んだことにチャレンジして成果を上げ、発表していきたい。

#### 4.2.6 花はすボランティア

##### (1) 参加日時

令和4年7月31日（日）、8月4日（水）、8月12日（金）

##### (2) 場所

アオーレ長岡

##### (3) 内容

上通小学校の児童が花はすを育て、アオーレ長岡にて展示をしている。その花はすに水をあげ、水鉢に浮かんでいる草や枯れた葉の除去など汚れを綺麗にするボランティアに参加した。今年度は、昨年度と同様に3日間行った。8月4日は上通小学校の児童と共に作業を行い、交流することができた。悪天候で屋根がある場所に展示されている花はすのみ手入れをしたが、花はすの数が少ない分、全員で丹精を込めて手入れを行えた。

今年度は、気温が高くボランティアに行った際に花はすの水がなく、土が乾いてしまっていたこともあった。そのため、前年度より作業が大変だったが、花はすが綺麗に咲くことを願って行ったため、達成感を感じることができた。また、展示期間中に長岡まつりが開催されたため、花はすを多くの方々に見ていただけた。

図表 4.2.6 【1】 花はすボランティアの作業風景



## 5. まとめ

### 5.1 今年度の活動成果

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いてきたこともあり、フィールドワーク中心に対面での活動を行うことができた。今年度のテーマは、【まちの駅魅力再発見プロジェクト】である。具体的には、昨年度のアンケートの結果から明らかとなった「まちの駅の認知度が低い」、「まちの駅間の交流や情報交換の不足」という課題を解決することである。そこで、まちの駅の認知度向上を図る『まちの駅情報発信プロジェクト』と、まちの駅の連携機能の強化を図る『まちの駅交流プロジェクト』の2つのプロジェクトを立ち上げて活動を行った。

『まちの駅情報発信プロジェクト』の主な活動は、「まちの駅定義パネルの作成」、「モザイクアート・まちの駅自慢パネルの作成」、「まちの駅パネルの制作・更新」、「パネル展の

開催」、「ホームページ・Instagramの更新」、「まちの駅PVの制作」である。これまでの情報発信媒体は「まちの駅紹介パネル」、「ホームページ・Instagram」の2つであった。今年度の活動を通して、「まちの駅定義パネル」、「モザイクアート・まちの駅自慢パネル」、「まちの駅PV」という新たなまちの駅の情報発信媒体を増やすことができた。また、パネル展において「まちの駅定義パネル」、「モザイクアート・まちの駅自慢パネル」をチラシ形式にして配布したことや参加イベントでの「まちの駅PV」放映など、今までにない発信方法に挑戦したことで、より多くの人へまちの駅についての情報発信を行えたと感じる。

『まちの駅交流プロジェクト』の主な活動は、「魅力ある駅のリレー紹介」、「各種イベント参加（まちの駅めぐり、新駅まちの駅めぐり、トチオーレ秋あじまつり、まちの駅全国大会、成果発表会、花はすボランティア）」である。昨年、一昨年とコロナ禍の事情もあり、アンケート調査等の座学中心でまちの駅の活性化を考えてきた。今年度は、これまで積み上げてきた研究結果を元にして、まちの駅に欠かせない「交流」「連携」の強化を目指した。今年新たに行った「魅力ある駅のリレー紹介」では、まちの駅の方に他駅を紹介していただく点で交流と連携をサポートできた。まちの駅は、仲が良い他駅とは自然に交流が生まれるが、接点がない駅との交流は難しい。そこで、交流・連携を促すために、駅長から「魅力がある、興味がある」「駅の取り組みが斬新」などの理由で、まちの駅を紹介していただき、次の駅へリレーする形でまちの駅をつなげていった。当初、ゼミ生からは仲良しグループで堂々巡りになるのではないかと、業態・業種が固まってしまうのではないかと、という意見もあったが、リレー紹介では偏りが見られなかった。さらに、紹介元の駅に、紹介していただいた駅のパネルも展示していただくことにより、まちの駅を訪れていただいた方に新たな駅も紹介できる形式を取ることができた。

各種イベントでは初参加の取り組みが多くあった。「まちの駅めぐり」、「新駅まちの駅めぐり」、「トチオーレ秋あじまつり」は今年度から参加したイベントであったが、ゼミ生が前のめりで活動し、まちの駅の方や地域の方と交流した。新規イベントについては、長年関わっているまちの駅や地域活性化に関する団体から参加のお話をいただくことがある。これは鯉江ゼミがこれまで構築してきた各団体とのつながりや調査研究によるまちの駅との連携を長年続けていることの利点である。「まちの駅全国大会」のグループディスカッションでは「マップづくり」をテーマに全国のまちの駅と意見を交わしたが、情報発信の難しさと全国のまちの駅が苦勞していることを知ることができた。また、事務局報告では他地域では大学との連携が行われていないことなどを知ることができた。

新たな取組、イベントへの参加から多くのことが得られたが、継続性の重要性を知ることができた全国大会への参加は、我々にとって非常に意味のあるものであった。

## 5.2 来年度の活動

来年度は、2つの目標を立てて活動を行いたいと考えている。

1つ目は、まちの駅の交流・連携機能の強化を図ることである。目標達成のための手立てとして、フィールドワーク中心に対面での活動を行い、①他のまちの駅を知るきっかけ作り、②まちの駅の情報発信を行いたいと考えている。①の他のまちの駅を知るきっかけ作りでは、今年度行った魅力ある駅のリレー紹介やまちの駅紹介パネルの作成を引き続き

行うことを考えている。②のまちの駅の情報発信では、例年行っているパネル展示を引き続き行い、今年度作成したまちの駅定義パネル、モザイクアート・まちの駅自慢パネルの展示も行っていきたいと考えている。これらの活動は、引き続きホームページ・Instagramで発信をしていく。

2つ目は、「動（運動）・食（食事）・参（社会参加）」をテーマとしたまちの駅のあり方を考えることである。今年度参加をさせていただいたまちの駅めぐりには、社会で生き生きと過ごすために大切なものである「動・食・参」が揃っていると気づき、今後まちの駅を活気づけていくためには「動・食・参」が重要であると感じた。そのため、ゼミ生が中心となり、イベントの企画考案・実施を試み、まちの駅を活気づけるきっかけ作りがしたいと考えている。

まちの駅と共に地域の活性化を目指していく上で、より多くの方々にまちの駅を認知・利用していただく必要があると考える。そのため、今後も今年度のようにまちの駅の魅力を発信していかなければならない。また、私たちゼミ生が交流・連携機能の強化を図り、まちの駅に加盟している方々の参加実感を高め、まちの駅活動を高いモチベーションで取り組んでいただくことで、より活発なまちの駅活動へ繋げていきたいと考える。そして、地域を活気づける支えになれるよう、まちの駅とともにこれからも一丸となって活動を続けていく。

### <謝辞>

最後に、お忙しい中、私たちの活動にご協力していただいた「全国まちの駅連絡協議会 関東甲信越運営幹事」久住幸晴様、「NPO法人市民協働ネットワーク長岡 コーディネーター」須貝友紀様を始め、ヒアリング・パネル作成にご協力いただきました「まちの駅」関係者の皆様、誠にありがとうございました。

また、日頃の活動のサポートをしていただいた長岡大学の教職員の皆様にも厚く御礼申し上げます。

### <参考文献>

文献1：全国まちの駅連絡協議会「まちの駅 (<http://www.machinoeki.com>)」

令和4年12月閲覧

文献2：国土交通省「道路：道の駅案内－国土交通省(<https://www.mlit.go.jp/road/Michino-Eki/index.html>)」令和4年12月閲覧

## <参考資料1> ゼミナール活動ご協力をお願い

令和4年6月吉日

まちの駅駅長 各位

長岡大学鯉江ゼミナール

### ゼミナール活動ご協力をお願い

拝啓 夏至の候、まちの駅駅長の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

昨年度は長岡大学鯉江ゼミナールの「まちの駅のあり方に関するアンケート調査」活動等にご協力いただき、誠にありがとうございました。

さて、今年度鯉江ゼミナールでは、まちの駅ネットワークみつけを対象に「まちの駅情報発信・交流プロジェクト」を行いたいと考えております。具体的には、以下の取り組みを考えておりますので、昨年に引き続きご協力を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

敬具

#### 「まちの駅情報発信・交流プロジェクト」

##### 1. 写真を活用したアートの作成

###### 1.1 モザイクアート

###### 1.2 私のまちの駅自慢パネル

目的：まちの駅の写真撮影を行い、記録に残す。記録写真をアート作品にして情報発信に繋げる。

内容：①まちの駅の外観や自慢としていることについての写真撮影

②まちの駅自慢紹介についてのヒアリング 等

##### 2. おすすめのまちの駅を紹介し合って交流を深めよう

目的：昨年度のアンケート結果を踏まえ、オススメのまちの駅を紹介し合う活動を行い、まちの駅間の交流や参加実感を高める。

内容：①まちの駅パネルの更新に関するヒアリング

②オススメのまちの駅のご紹介およびパネル設置 等

つきましては、上記活動でご訪問させていただきたく、ご多忙とは存じますが、同封の日程用紙を、**6月30日(木)まで**に返信用封筒にて、ご返送をお願いいたします。学生の日程と調整いたしまして、印をつけていただいた日程いずれかに伺わせていただきたいと思いますと考えております。なお、訪問日につきましては、TEL か FAX にて、事前にご連絡させていただきます。

また、「2. おすすめのまちの駅を紹介し合って交流を深めよう」に関しましては、日程用紙をもとに別途ご連絡、調整させていただきたく存じます。

以上



ヒアリングに関しましては、以前作成した貴まちの駅パネル(当日お持ちいたします)を参考にしながらお伺いしたいと思っております。なお、新駅については新たな作成となります。

ヒアリング時にお伺いしたい内容は以下の通りです。

- ・ 基本情報の確認
- ・ 貴まちの駅の活動内容、自慢ポイント
- ・ まちの駅に加入した理由
- ・ 駅長として大切にしていること
- ・ キャッチコピーについて
- ・ 貴まちの駅がオススメするまちの駅、その理由 等

## 日程用紙

まちの駅名 (施設・店名等)	(施設・店名等 )
(ふりがな)	
ご担当者名	

ご都合の良い日程すべてに○印をつけて、ご返送をお願いいたします。  
希望時間などあればお知らせください。

日付	午前	午後
7月11日(月)		
7月12日(火)		
7月13日(水)		
7月14日(木)		
7月15日(金)		
7月16日(土)		
(中略)		

日付	午前	午後
8月16日(火)		
8月17日(水)		
8月18日(木)		
8月19日(金)		
8月20日(土)		
8月21日(日)		
8月22日(月)		
8月23日(火)		
8月24日(水)		
8月25日(木)		
8月26日(金)		

**【備考欄】**

上記の日程で都合がつかない場合は、ご都合がつく日程をご記入ください。  
また、その他なにか不明点等ございましたらご記入お願いいたします。

**【質問】**

あなたのまちの駅の自慢ポイントを教えてください。

(例)「あたたかいおもてなしでお出迎え」「一押しの商品〇〇」「自然と触れ合える」など

<参考資料2> 7月まちの駅めぐり

—まちの駅ネットワークみつけ主催—

# バスでめぐるまちの駅めぐり

みつけをもっと好きになれる日帰りバスツアー！  
第2弾を開催いたします！



**令和4年7月30日(土)雨天決行**

9:15ネーブルみつけ集合～15:00解散予定

★ツアー日程(都合により予告なく内容が変更になる場合がございます)



参加費: **1500円**(食事代・バス代・保険代等含みます)

特典: 当日参加駅のみで使用できる**500円分の金券進呈!**

☆お申込み方法

ネーブルみつけに設置してある申込用紙に必要事項をご記入の上、ネーブルみつけに備え付けの応募箱に投函してください。電話での申込みはお受け出来ません。

☆お申込み締め切り

令和4年7月20日(火) ※当選者には7月21日(水)に電話連絡致します。

お問い合わせ **TEL0258 (62) 7802** ネーブルみつけ駅長まで

**※十分な感染対策をして、ご参加下さい。**

キ リ ト リ

第2回まちの駅めぐり参加申込書

氏名		男 女	年齢	才	住所	電話・携帯 No.
氏名		男 女	年齢	才	住所	電話・携帯 No.

<参考資料3> 9月まちの駅めぐり

—まちの駅ネットワークみつけ主催—

# バスでめぐるまちの駅めぐり

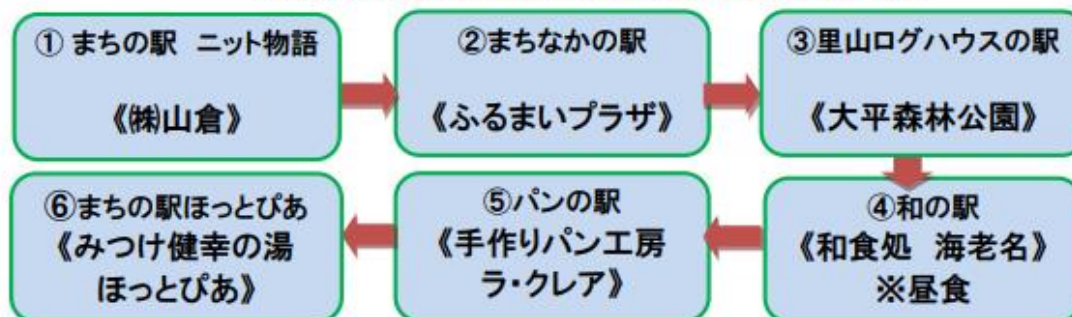
みつけをもっと好きになれる日帰りバスツアー！  
第3弾を開催いたします！



**令和4年9月8日(木)雨天決行**

9:15ネーブルみつけ集合～15:00解散予定

★ツアー日程 ※都合により予告なく内容が変更になる場合がございます  
※感染症の拡大状況によっては中止になる場合がございます。



参加費: 1500円(食事代・バス代・保険代等含まます)

特典: 当日参加駅のみで使用できる500円分の金券進呈!

募集人数: 15名(募集定員を超えた場合は抽選になります)

☆お申込み方法

ネーブルみつけに設置してある申込用紙に必要事項をご記入の上、ネーブルみつけに備え付けの応募箱に投函してください。電話・FAXでの申込みはお受け出来ません。

☆お申込み締め切り

令和4年8月31日(水) ※当選者には9月1日(水)に電話連絡致します。

お問い合わせ TEL0258 (62) 7802 ネーブルみつけ駅長まで

※充分な感染対策をして、ご参加下さい。

キ リ ト リ

第3回まちの駅めぐり参加申込書

氏名	男女	年齢	住所	電話・携帯 No.
氏名	男女	年齢	住所	電話・携帯 No.



—まちの駅ネットワークみつけ主催—

# バスでめぐるまちの駅めぐり

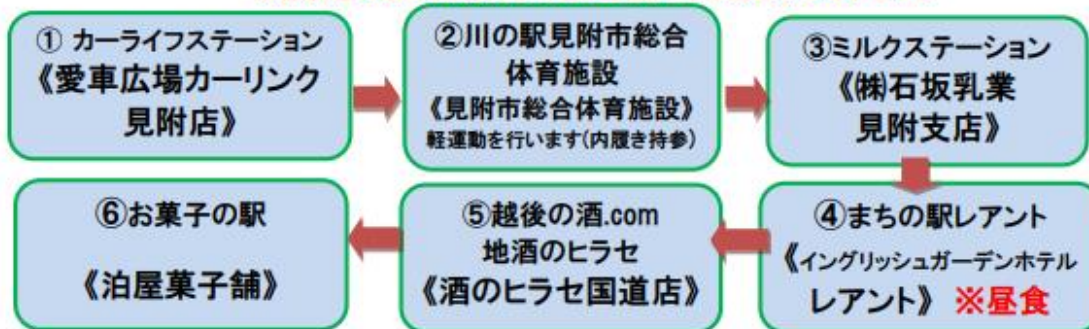
みつけをもっと好きになれる日帰りバスツアー！  
第4弾(今年度最後)を開催いたします！



**令和4年11月10日(木)雨天決行**

9:15ネーブルみつけ集合～14:45解散予定

★ツアー日程 ※都合により予告なく内容が変更になる場合がございます  
※感染症の拡大状況によっては中止になる場合がございます。



参加費: 1500円(食事代・バス代・保険代等含まます)

特典: 当日参加駅のみで使用できる500円分の金券進呈！

募集人数: 15名(募集定員を超えた場合は抽選になります)

## ☆お申込み方法

ネーブルみつけに設置してある申込用紙に必要事項をご記入の上、ネーブルみつけに備え付けの応募箱に投函してください。電話・FAXでの申込みはお受け出来ません。

## ☆お申込み締め切り

令和4年10月29日(土) ※当選者には10月30日(日)に電話連絡致します。

お問い合わせ **TEL0258 (62) 7802** ネーブルみつけ駅長まで

※充分な感染対策をして、ご参加下さい。

キ リ ト リ

## 第4回まちの駅めぐり参加申込書

氏名	男 女	年齢	才	住所	電話・携帯 No.
氏名	男 女	年齢	才	住所	電話・携帯 No.

<参考資料5> 新駅まちの駅めぐり

令和4年8月25日

まちの駅ネットワークみつけ 各位

まちの駅ネットワークみつけ  
代 表 星野 和孝  
交流部長 斉藤 友良

令和4年度 「新駅まちの駅めぐり」のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、交流部会では各まちの駅への理解を深め、ネットワークの繋がりを一層強める  
ために「新駅まちの駅めぐり」を下記のとおり企画いたしました。  
つきましては、参加者を募集いたしますので、是非ともふるってご参加ください。

記

1. 日 時 令和4年9月26日(月) 14:00 ネーブルみつけ集合  
\*マイクロバスを利用します
2. 内 容  
新駅まちの駅めぐり 14:10ネーブルみつけ出発  
新たに加入したまちの駅『なむなむの駅』訪問 (14:20~14:35)  
まちの駅 『長岡大学』 キャンパスツアー (15:10~15:40)  
長岡まちなかエリアのまちの駅2 駅を訪問 (16:00~17:00)  
越路エリア まちの駅 『酒蔵のある里』訪問 (17:20~17:50)  
  
懇親会 和の駅 『食事処海老名』にて (18:30~19:30)  
( 閉会后 送迎車にてネーブルみつけへ )
4. 参加費(懇親会) 5,000円(懇親会不参加の場合は無料)
5. 申込み 9月13日(火) 15:00までに事務局(ネーブル駅長)へ  
別紙申込書にてお知らせください。  
  
※欠席の場合も必ずお知らせください。



<参考資料6> トチオーレ秋あじまつりチラシ(表)

栃尾地域交流拠点施設「トチオーレ」オープニングイベント第2弾

# トチオーレ

10月9日(日曜日)  
午前10時～午後3時

# 秋あじまつり

場所  
トチオーレ

来館者10万人お祝い  
セレモニー&抽選会開催!

トチオーレ来館者10万人突破!  
スタッフから感謝を込めて、  
イベントで使える商品券を  
プレゼント!

【先着100名から抽選】  
10:00～屋根付き広場

- ・15店舗あるあぶらげ店の  
栃尾あぶらげ大集合! (お土産販売)
- ・飲食ブース、キッチンカー
- ・越後長岡まちの駅展示販売ブース
- ・ボランティアブース (栃尾ボランティア連絡協議会ほか)
- ・作って楽しいワークショップ (栃尾高校)

【主催】栃尾地域交流拠点施設イベント実行委員会 【共催】長岡市 【協力】栃尾豆腐油揚組合・栃尾小売酒販組合・越後長岡まちの駅

## 10月の栃尾はイベントが盛りだくさん!

10月15日(土)～16日(日) 縁(塩)むずび祭…杜々の森	10月23日(日) 栃尾地域農業まつり…道の駅R290とちお・おりなす	10月29日(土)～30日(日) 道院高原感謝祭…道院高原
-----------------------------------	--	----------------------------------



<参考資料 6> トチオーレ秋あじまつりチラシ(裏)

# トチオーレ 秋あじまつり 会場案内

栃尾地域交流拠点施設「トチオーレ」 オープニングイベント第2弾

**すくすく遊び広場**

目の届く広い室内で安心してお子さまと遊んでいただけます。

**ボランティアブース(物販等)**

- ・フードバンク
- ・福祉の店 パレット
- ・赤い羽根共同募金
- ・すみれの会
- ・PRコーナー

**まちの駅物産交流会'22**

長岡市のまちの駅に登録している店舗が参加!

参加店は下記の出店情報をご参照ください。

**栃高ワークショップ体験 inトチオーレ**

- ・キャンドルライト製作
- ・キーホルダーづくり
- ・オリジナル缶バッジ工作
- ・簡単な計算に答えてお菓子をもらおう

**ボランティアブース(体験)**

- ・手芸体験・脳トレ体験
- ・チャリティ録音

**ステージイベント**

- ・びんくそーず
- ・ひまわり演芸クラブ
- ・TWE Big Band
- ・LICスポーツダンススタジオ
- ・樋山 聡太郎

**飲食スペース**

**あぶらげ特別ブース**

- ・キッチンカー
- ・フードテント

**出店情報 Market Information 10:00~15:00**

**キッチンカー**

- エスポワール(espoir) カレーライス、スープ
- 道の駅 直売の恵わしま クリームソーダ/ノンアルコールドリンク/パフェ
- (有)山岸モーターズ アイスクリーム/かき氷/フロート/フラッペ/からあげ/フライドポテト

**フードテント**

たからや食堂 あぶらげ煮売、もつ煮、ごんかく	広野茶店 あぶらげけんしん焼き、焼きもち
与板観光協会 餅つき、むらじ屋、はっか巻、栗団子かん、シフォンケーキ	千のてらす 栗餅、キーマカレー
軽快・酒盛りのある屋 あさひ山 越前地区の惣産品、酒蔵ならではのスイーツ、菓子、甘酒地	
佐々木商事 揚げたてあぶらげ	栃尾社交飲食店組合 あぶらげピザ、あぶらげ焼き、エビマヨ
木沢ハウス ピザ	
対谷田川漁業協同組合 ニジマス炭火焼き	プレッシング インドネシアのお菓子「ピサンゴレン」
牛タン専門店 牛太 塩焼肉、牛串、松屋牛串、牛タン串	居酒屋 悠和 厚焼き玉子、玉子サンド、もつ煮込み
とちお宿(中央店) まじール、漬物、餅、ハイボール、シューズ、ホットコーヒー、ラムネ、肉まん	

**物販&展示**

与板観光協会 かま、袋了など伝統的打ち物	まちの駅 書房 書籍回収券、ストラップ
越前福岡まちの駅ネットワーク まちの駅パンフレットデザイン展	長岡大学 越前ゼミナール まちの駅紹介パネル展

**トチオーレ所在地**  
長岡市中央公園1番67号

**駐車場(トチオーレ)**  
154台(うち身体障害者用4台)  
臨時駐車場  
長岡市栃尾支所駐車場

**お問合せ**  
☎ 0258-89-8611





## <参考資料7> まちの駅全国大会チラシ(裏)

### (4)まちの駅活動 リレー・スピーチ(14:40~15:50)

<報告者・団体> ※発表者募集中。募集・調整中のため、変更になる場合があります。

- まちの駅ネットワーク本庄 …QRコードを使った広報用マップ、叶うくんの缶バッジづくり
- 越後長岡まちの駅ネットワーク …シールラリー、トチオーレ物産展
- 八王子まちの駅 CHITOSEYA …まちの魅力発信、賑わいづくり、ごみを出さない運営
- 若者・大学生の発表
- 過去の全国大会開催地からの報告
- その他



### (5)グループディスカッション(16:00~17:00) ※希望するテーマや同業種があればご相談ください。

<テーマ案>

- ・自転車活用、マップづくり、SDGs、IT活用、など

<同業種案>

- ・小売店同士、飲食店同士、行政同士、商工団体同士、観光協会同士、など

※マッチングの調整が出来ない場合や特に希望がない時は、機械任せのグループ分けになります。

### (6)オンライン懇親会(18:00~19:30)

- ・希望者によるオンライン懇親会を行います。  
食べ物や飲み物は各人でご準備ください。



**申込み用紙** ※まちの駅ホームページに申し込みフォームを掲載。QRコードからも申し込みます。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeqOq0JMndynJdejwULxGfWrARDRdRGh7BZJ9JVQ2LslHfikQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>

参加内容	オンラインミーティング	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
	リレー・スピーチで報告	<input type="checkbox"/> 報告者にエントリーする
	グループディスカッションのテーマ	希望するテーマ or 業種 ( )
	オンライン交流会	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
参加者	氏名	
	まちの駅名 or 所属ネットワーク	
	都道府県・市町村名	
	E-mail (Zoomの案内先)	
	電話 (連絡が取れるもの)	

#### 問合せ・申込み

全国まちの駅連絡協議会事務局(地域交流センター)担当:橋本、岩倉

東京都千代田区東神田 1-7-10 KIビル 3F 電話 03-5823-4190 FAX03-5823-4191 oshiete@machinoeki.com

